

平成21年度 市民活動支援センター事業報告

I 平成21年度事業総括

市民活動支援センター受託運営を開始して5年が経過しました。

利用者数、来館者数ともに、微増傾向は続き、曜日や時間帯によってはほぼ満席になることもあります。

NPO 法人設立についての相談や、えんがわだより掲載などの広報依頼、助成金の相談なども増え、市民活動支援センターの存在や役割についての認知度もかなり高まっています。そして、チャリティーウォークや災害時対応関連など新規事業に取り組む過程であらたな地域のネットワークを構築することができました。

また、同時期にオープンしたランチ野ヶ谷の郷も5周年を迎えて、ますます地域の活動拠点として、人が集う空間としての存在感を増してきています。運営委員をはじめとするボランティアスタッフの力と商店会や自治会、地域包括センターなどさまざまな機関の支援、連携をいただきながらあらたなランチの形が生まれつつあると感じています。

そして、そのような地域拠点の可能性、意義を実感しながら念願の西部地域に新しいランチを開設することができました。

西部地域福祉センター内に設置した西部コーナーは、週5日開所し専任のコーディネーターを配置しています。

10月オープンから約半年で、既存の制度やサービスの対象にはなりえない課題を抱えたケースが数件顕在化し、現在そうした課題をどのように地域で支えていけるか、そのためのプログラムをどのように作っていくかを検討しています。

今後、この西部コーナーが地域の課題を解決していくために人や資源をつないでいくハブとして機能するよう、またコーディネーターが地域福祉コーディネーターとしての役割を果たしていけるよう、しくみづくりと併せて検討、実践していきたいと思えます。

市民活動支援センターを社協が運営している強みのひとつに、小地域にランチをもっていることがあげられます。西部コーナーの開設は、市民一人ひとりの生活圏域の中でお互いに支えあい、課題を解決していくためのネットワークを紡いでいくためのあらたな第一歩となりました。今後、こうした取り組みを他の地域にも波及していき、より心豊かに安心して暮らせるまちづくりを進めていくため、センター運営に取り組んでまいりたいと思えます。

II 個別事業

番号	事業名	計画の種類					決算額(14,819,854円)			
		新規	重点	活動	改善	発強	自主	補助	委託 市協	利用
1	市民活動支援センター									

※市協⇒調布市生活文化部協働推進課の略

第1 センターおよびランチの運営

1 市民活動支援センター運営委員会の開催

住民の主体的な活動を支援し、市民参画型のまちづくりを積極的に進めるため、毎月1回市民活動支援センター運営委員会を開催し、センター事業についての協議をおこなった。

(1) 市民活動支援センター運営委員会

任期：平成21年4月1日～平成23年3月31日（敬称略・50音順）

氏名	主な活動、所属など
岩松 真也	調布エフエム株式会社
上田 英司	特定非営利活動法人NICE
枝見 太郎	財団法人富士福祉事業団
遠藤 弘行	調布市生活文化スポーツ部協働推進課
尾関 葉子	DADAアフリカと日本の開発のための対話プロジェクト
金子 日出澄	市民活動支援センター
小泉 伸子	調布WAT
小林 孝	特定非営利活動法人ちょうふこどもネット
高橋 安子	公募委員
高山 和久	東京ボランティア・市民活動センター
橋本 郁子	調布災害時ボランティア・コーディネーターの会
日比生 信義 (委員長)	林建設株式会社
三上 裕之	調布わいわいサロン
山本 縁	調布市登録手話通訳者
横山 泰治	公募委員・NPO法人ちょうふどっとこむ
和田 敏明	ルーテル学院大学教授

(2) 平成21年度 市民活動支援センター運営委員会開催状況

第1回	4月9日	委嘱状交付、社協会長あいさつ、自己紹介、正副委員長選任、社協理事および第4次地域福祉活動計画策定委員の推薦、センター運営要綱について、平成21年度運営方針および事業計画について、年間スケジュールについて、その他
第2回	5月14日	平成20年度事業報告・決算報告について、えんがわファンド選考委員の選任について、テーマ別委員会の開催について、行政と運営委員の懇談会について
第3回	7月16日	専門委員（広報・災害）について、行政との懇談会について、市民活動・市民協働に関する研究会（議会との懇談会）について
第4回	9月10日	市民活動支援センター特別会計補正予算について、センター運営要綱の一部を改正する要綱について、運営委員会議事録の公開について、専門委員会開催報告
第5回	10月22日	えんがわフェスタ2010について、専門委員会報告、ちょうふチャリティーウォーク2009報告、運営委員会研修報告
第6回	12月7日	えんがわフェスタ2010について、専門委員会報告
第7回	1月14日	平成21年度事業方針・重点項目について、えんがわフェスタ2010について、専門委員会報告
第8回	2月10日	平成21年度事業方針・重点項目について、平成21年度事業計画について、平成22年度えんがわファンド募集要項について、えんがわフェスタ2010について、専門委員会報告
第9回	3月9日	平成21年度事業計画・予算について、えんがわフェスタ2010報告、来年度事務局体制について（報告）

2 市民活動支援センター運営委員会研修の実施

毎年3月に開催する市民交流事業「えんがわフェスタ」をイベント性の高いものから研究協議会的な内容に転換していくことを前提に、「響かせることが難しいテーマの投げかけでありながら、多くの人に来てくれる方法を探す」という視点で研修を開催した。センター自体の広報、また市民活動団体の広報支援を進めていく上での考え方や具体的な手法について学ぶことができた。

講師：NPO 法人市民活動情報センター・ハンズオン！埼玉

副代表理事 吉田 理映子氏

日時：平成21年9月12日（土）午後2時～6時

会場：調布市市民プラザあくろす会議室1（2階）

内容：市民活動支援センター運営委員会研修 テーマ「人に伝わる広報」

対象：市民活動支援センター運営委員およびスタッフ

★ 成果・反省点・課題

- 運営委員とスタッフで課題を共有することができた。テーマをかえてこのような機会が今後もあるとよいという意見を多数いただいた。
- 広報の視点、考え方について学ぶことができた。

3 市民活動支援センター運営委員会専門委員の設置

(1) 災害部会

運営委員を中心に、大規模災害発生時における市民活動支援センターの対応の仕組みづくりについて検討した。

① 担当委員

氏名	主な活動、所属など
岩松 真也	調布エフエム株式会社
橋本 郁子	調布災害時ボランティア・コーディネーターの会
山本 縁	調布市登録手話通訳者

② 会議の開催状況

回数	開催日時	開催場所	内容	出席者数
第1回	8月21日(金) 午後7時～8時30分	市民活動支援センター「はばたき」	災害ボランティアセンター準備室の立ち上げについて、災害ネットワーク会議について	3人
第2回	10月2日(金) 午後7時～8時30分	市民活動支援センター「はばたき」	災害ネットワーク会議について、災害対策に関するアンケート調査について	3人
第3回	11月26日(木) 午後7時～8時30分	市民活動支援センター「はばたき」	災害ネットワーク会議について、災害対策に関するアンケート調査について	3人
第4回	12月22日(月) 午後7時～8時30分	市民活動支援センター「はばたき」	災害対策に関するアンケート調査の調査結果について	2人

★ 成果・反省点・課題

- 災害対策に関するアンケート調査の実施や災害ネットワーク会議の開催につなげることができた。
- 22年度はより具体的な災害時対応の仕組みづくりを検討していきたい。

③ 災害対策に関するアンケート調査の実施

市内の企業や協同組合、学校等における災害対策について伺い、その現状と課題を把握することを目的に実施した。

実施期間	11月1日(日)～11月30日(月)
調査数	78団体
回答数	35団体(回答率44.3%)

★ 成果・反省点・課題

- 回答率が伸びなかった。
- 各組織が持つ資源や課題を把握できた。

④ 第1回災害ネットワーク会議の開催

大規模災害の発生に備え、平常時から関係機関との情報共有・連携を図ることを目的に、災害対策に関するアンケート調査にご回答いただいた組織に声掛けを行い、開催した。

日時	2月2日(火) 午後6時30分～8時30分 2月3日(水) 午前10時～正午 ※2日とも同内容
会場	市民活動支援センター「はばたき」
内容	①趣旨説明 ②ネットワークの事例紹介～三宅島災害支援などより～ 講師：福田信章氏(東京災害ボランティアネットワーク事務局次長) ③意見交換
参加者数	2日 12人(うち事務局3人) 3日 11人(うち事務局3人)

★ 成果・反省点・課題

- 企業、協同組合、学校、行政など、様々な組織が参加した。
- 今後、定期的に災害ネットワーク会議を開催し、関係機関との「顔の見える関係づくり」を進めていきたい。

(2) 広報部会

市民活動支援センターとしてどのような情報を発信していくべきか検討した。

① 担当委員

氏名	主な活動、所属など
高橋 安子	公募委員
三上 裕之	調布わいわいサロン
横山 泰治	公募委員・NPO法人ちょうふどっとこむ

② 会議の開催状況

	日程	内容	出席者数
第1回	8月18日(火)	えんがわだよりの目的の共有 10月号特集記事検討 新しい取り組みについて(運営委員コラム「縁側から見える風景」)	3人
第2回	10月5日(月)	10月号特集記事進捗状況 11月号特集記事検討	3人
第3回	11月5日(木)	11月号特集記事進捗状況 12月号特別コーナー検討	3人
第4回	12月17日(木)	12・1月合併号特集記事検討 12・1月合併号特別枠検討(運営委員今年の漢字一文)	2人
第5回	1月22日(金)	2月号特集記事検討	1人
第6回	3月19日(金)	3月号特集記事検討 22年度に向けての検討	2人

★ 成果・反省点・課題

- 多方向の視点から紙面を作り上げることができたため、より読みやすいえんがわだよりとなった。
- センターとしてどのような情報を発信していくべきか検討していくとともに、情報の受け手がどのような情報を必要としているのか検討していきたい。

4 市民活動支援センター利用者会議の開催

広く利用者の声を直接聞く機会を設けるとともに、利用者間の横のつながりを活性化することを目的として実施。18年度より「えんがわミーティング」というタイトルをつけた。

第1回 えんがわミーティング

「Motto Motto 大作戦～もっと熱く もっと広く 伝えたい!!～」

日時	12月8日(火) 午後6時00分～7時30分
会場	市民活動支援センター 活動スペースはばたき
参加者数	参加者12人、スタッフ5人、運営委員2人
参加費	無料
1 目的	

活動を行う上で欠かせない「広報」に困っている施設・団体を対象に、情報交換、交流、広報力の向上を目的とした会として開催。通常の広報の講座にはない、参加者が活動している地域の施設・団体による実際の活動と広報の手法を聞くことで、今後の活動に幅をもたせることができ、そこから活動の輪を広げるきっかけとする。

2 プログラム

①ご挨拶 ②自己紹介 ③グループワーク ④発表 ⑤まとめ ⑥お知らせ

3 内容

自分達の団体・施設の「広報に困っている」、「工夫していること」といった広報の事例を出し合い、グループワークを行うことで、参加者同士の情報共有・交流を行った。参加者のほとんどは広報に困っている団体の方だったので、他の参加者の話を真剣に聞いていた。参加者同士の話が予想以上に盛り上がったため、グループワークのプログラムを一つ切り上げて終わった。参加者同士初対面の方が多かったにも関わらず、会の終了後も、一時間近く会話が盛り上がり、交流の機会をしっかりと持つことができた。

センタースタッフも、グループワークに参加したことで、より深く情報交換や交流ができた。

第2回 えんがわミーティング

「みんなのえんがわになりたい！！～センター資源の有効活用について考える～」

日時	3月16日（火）午後3時～5時
会場	市民活動支援センター 活動スペースはばたき
参加者数	利用者6人、スタッフ5人
参加費	無料

1 目的

日頃から市民活動支援センターを利用していただいている利用者から、既存のセンター資源について、さらなる有効活用や、より利用者にとって使いやすくするための方法を、共に考え、情報共有することを目的とする。

2 プログラム

①ご挨拶 ②センター見学・説明 ③ワーク ④意見出し・発表 ⑤フリートーク ⑥まとめ

3 内容

平成21年度第2回のえんがわミーティングは、これまでの企画とは異なり、市民活動支援センターについて意見をいただく、当初の利用者会議に近い形式で開催した。

参加者が6名と少人数で始まったが、日頃からよく利用している方々の参加だった為、終始和やかな雰囲気で行進し、普段はあまりじっくりと見ていないセンター資源を見ていただくことで、新しい発見として受け取った方もいた。また、センターが様々な工夫を凝らしてきた部分も、利用者側から見た視点での意見は、大変参考になり、双方にとって満足できる会になった。少人数だった為、一人ひとりからしっかりと意見や要望を聞くことができた。

工夫点として、建造物の問題や、実現が難しい意見を出さない為に、テーマを区切って意見をいただいた。

★ 成果・反省点・課題

市民活動支援センターが開所してから5年が経過し、利用者会議も「えんがわミーティング」と名称を変え、様々な形式で取り組んできた。

今年度は団体の学びの場としての企画と、原点に立ち返り、当初の利用者会議に近い企画の二通りを行った。第1回「Motto Motto 大作戦」では、利用者同士の情報交換、共有を行うことができた。しかし、グループワークで広報に関する課題を抽出するところまではできたが、解決にまでは至らなかった。第2回「みんなのえんがわになりたい！！」は、上記にも記載されているが、当初の利用者会議に近い形である、センター利用者から意見をいただく場として開催した。既存のセンター資源についての意見をいただくと同時に、普段の利用の際に気づいたことなどお話をいただいた。年度末に開催したということもあり、いただいた意見を基に、新年度に向けてセンターのレイアウトを大きく変えることにもつながった。

次年度のえんがわミーティングについては、改めて利用者からの希望を調査し、それに沿う形で企画していきたい。

5 市民活動支援センターサポーター会員制度

自立した市民社会の創造、住民参加型のまちづくりの実現を目指すセンターの方針に賛同し、センター運営を資金面から支えていただくサポーター会員制度が設置されて4年経過した。サポーター会費は市民活動助成事業「えんがわファンド」の原資として活用した。

サポーター会員数：42口（内訳：団体…34、個人…5人 ※複数口の加入もあり）

活動分野：情報化、福祉（児童、障害児・者、高齢者）、生涯学習、環境、文化・芸術、子育て・教育、国際協力・交流、生活環境づくり、男女共同参画、心理など

6 市民交流事業の実施

えんがわフェスタ2010 動けば変わるあなたの希望（みらい）

地域の課題に目を向け、解決に向けた仲間作りを目的として開催。

関心を持って参加して下さった地域の方々とともに、さまざまなテーマについて、講演会、ワークショップ、まちあるきなどの手法を用いて考え、学ぶことができた。

開催日	3月7日（日）午前10時～午後5時		
会場	調布市市民プラザあくろす		
来場者数	延べ 250人		
主催	調布市市民活動支援センター	企画運営	市民活動支援センター運営委員会

第3部 市民活動支援センター

(講演会・分科会)

時間	タイトル	出演者など	会場
10:00~12:00	江戸しぐさから学ぶ思いやりの心 ～実践して広がる豊かな世界～	NPO 法人江戸しぐさ 副理事長 桐山 勝氏	あくろす 2F はばたき
10:00~13:30	作って食べて学んで始める ECO	NPO 大地を守る会 宇都宮 義輝氏	あくろす 3F 調理室
13:00~15:00	平成ワカモノ事情 ～私たちの生きにくさにきづいてほしい～	(株)シェアするココロ代表 石井 正宏氏 ほか (協力：青少年ステーション CAPS)	あくろす 2F はばたき
13:00~15:00	あなたがまちを元気にする。 はじめようコミュニティビジネス	NPO 法人 Mystyle@こだいら 代表 竹内 千寿恵氏 ほか	あくろす 2F 会議室 1
15:30~17:00	お寺がとりもつ地域の縁（えにし）	深大寺第八十八世張堂完俊 住職	あくろす 3F あくろすホール
10:00~15:00	災害に備えて今できること ～被災者の体験談とまちあるきから学ぶ～	加納 佑一氏、加納 亜紀 子氏、村上 順子氏	総合福祉センターほか市内各所

(展示コーナー)

はばたき活動展

目的	日頃、はばたきで活動している団体の紹介。
時間	10:00~17:00
参加団体数	35 団体（そのうち、32 団体は写真展示と紹介文の掲示。3 団体は模造紙での展示）
内容	団体が主にはばたきで活動している写真の展示と紹介文の掲示を行った。そのうち希望の団体は、作品展示やTV上映、作品販売を行った。 35 団体のうち3 団体は模造紙での展示。

(飲食コーナー)

カフェWingbeat

目的	分科会の合間に休憩できる場所（カフェ）の提供
時間	10:00~17:00

内容	フェアトレードのお茶と作業所のお菓子をチャリティで提供。 チャリティは全額えんがわファンドの資金とさせていただいた。 作業所のパンフレットを配布、フェアトレードの説明を掲示、えんがわファンドの資料を配布した。
----	--

★成果・反省点・課題

- はばたき活動展は奥まったところでの開催だったため人の流れが悪かった。歩いていけば必ず目に付くような場所で行うなど工夫をしていきたい。
- 活動展は気軽に参加できる企画であったので、普段活用している多くの団体とより密接に関わることができた。
- カフェWingbeatは休憩の場とともに、分科会が終わったあとの交流の場としても使われており、有意義であった。
- 運営委員に企画運営を担っていただくことで、各分科会が充実し、内容に幅を持たすことができた。また、より参加者の視点に立って企画を立てることができた。

7 小島町コーナー ボランティア活動室利用者会議の開催

市民活動支援センター・小島町コーナーでは、ボランティア登録団体に活動室やメールボックス等の貸し出しを行っている。

この会議では、活動室利用方法の確認をおこなっている。また、団体にとってより円滑に利用できる活動室をめざすため、新しいルールづくりをおこなっている。

年に1度開催している会議ではあるが、ボランティア団体の情報交換や交流を深める有意義な会議となっている。

★ 成果・反省点・課題

- 棚やメールボックスを希望する団体に対して、物品の保管場所にならないよう再確認した。
- 市民活動支援センター小島町コーナー開所日変更に伴い、土曜日の申請書の提出が必要である事を再確認した。また、申請方法としてFAX・メールでの申請も受付が可能になったことを報告した。
- キャンセルの連絡について、キャンセルが決まった時点ですぐに連絡を入れていただくよう、あらためてお願いをした。
- 定期的な活動を継続していた1団体の活動終了を参加団体に報告した。
- 活動日の変更を希望する団体の調整をした。
- 会議を重ねるごとに、団体同士の交流が深まり協力関係ができてきた。

8 市民プラザあくろす開設5周年記念事業

市民プラザあくろすが平成22年2月で開設5周年を向かえることから、男女共同参画推進センター、産業振興センター、市民活動支援センターおよび指定管理者東急コミュニティーの協働事業として5周年記念事業を開催した。

日 時	2月10日(水) 午前10時～11時30分
会 場	総合福祉センター2階 ボランティア活動室
参加者数	利用団体15団体18人、スタッフ2人
<p>1 プログラム</p> <p>①事務局より ②活動室利用について ③メールボックス・棚の利用について ④その他</p> <p>2 内容</p> <p>①活動室利用方法の確認 予約受付開始、定例の活動、棚の利用、メールボックス、土日夜間申請について確認する。</p> <p>②メールボックス・棚の利用について 新規にメールボックスの利用を希望する団体があったので調整を行った。</p> <p>③お互いの活動を理解するために活動紹介を行った。</p> <p>④その他</p>	

(1) 5周年記念事業の開催

2月21日(日) ○講演会 「周りとのかかわりの中で私を生きる」

講師：秋吉 久美子氏(女優)、荒木 葉子氏(産業医)

○記念パーティー

(2) 5周年記念誌の発行

(3) ロゴマークの作成

9 「野ヶ谷の郷」

梅の湯商店会の空き店舗を利用して、平成16年11月1日にオープンした市民活動支援センターのランチ。他のコーナーとは異なり、コーディネーターを配置せずに市民(野ヶ谷の郷運営委員会)が運営している。

(1) 概要

機 能	①ボランティアビューロー機能 ②貸スペース機能 ③福祉ショップ機能 ④地域活動拠点機能 ⑤活動発表ギャラリー
開 設 日	火・木・土曜日(年末年始を除く) ※ボランティアスタッフが当番で開設
貸 出 日	毎日(年末年始を除く)
スタッフ人数	29人(うち役員4人)

(2) 総会・交流会

日時	4月23日(木) 午前11時～11時45分
内容	以下の議案を提案し、承認された。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度事業報告 ・平成20年度決算 ・平成21年度事業計画(案) ・平成21年度予算(案) ・平成21年度役員(案) 総会終了後、交流会を開催した。
参加者	18人、委任状提出7人

(3) 野ヶ谷の郷運営委員会役員 (敬称略・50音順)

磯野 幸子(会計)	上ノ原地区青少年健全育成委員
百合田 紀恵子(会計監査)	深大寺東町ひだまりスタッフ
四家 綾子(代表)	ひだまりサロン立ち上げスタッフ
若林 裕子(副代表、書記)	染地ボランティア連絡会役員

(4) 役員会

回数	日時	内容	参加者数
第1回	5月30日(土) 午前10時～午後0時 20分	夏休みイベントについて、商店会まつり「納涼祭」について、5周年記念事業について、野ヶ谷の郷だよりについて	4人
第2回	7月25日(土) 午前9時～11時	商店会まつり「納涼祭」について、講習会「成年後見制度」について、5周年記念事業について、野ヶ谷の郷だよりについて	4人
第3回	9月13日(日) 午前10時～午後0時 30分	5周年記念事業について、野ヶ谷の郷だよりについて	4人
第4回	11月7日(土) 午前10時～正午	5周年記念事業について、野ヶ谷の郷だよりについて、年末年始の休館日について	4人
第5回	2月13日(土) 午後4時～6時	平成22年度総会・交流会について、春休みイベントについて、ボランティア連絡会ネットワーク会議について、調布ボランティアまつりについて、野ヶ谷の郷だよりについて	4人

(5) 野ヶ谷の郷だよりの発行

野ヶ谷の郷や地域の情報を発信するため、「野ヶ谷の郷だよりの発行」を計4回（4月号・7月号・12月号・3月号）発行し、周辺自治会等に配布した。各号1,500部発行。

(6) 梅の湯商店街まつり「大納涼祭」

梅の湯商店会会員として、商店街まつりに参加した。

開催日時	8月24日（月）午後3時～6時
会場	「梅の湯」駐車場
参加内容	野ヶ谷の郷の開放、出店手伝い

(7) イベント・講習会

子どもから高齢者までが楽しみながら交流するイベントや、生活に関連したテーマの講習会を開催した。

内容	開催日時	講師	参加者数
春をみんなで歌おう	4月23日（木） 午後1時30分～3時		17人
講習会「イチからわかる！ 成年後見制度」	8月27日（木） 午後2時～3時30分	調布市高齢者・障害者 福祉相談員	19人

(8) 5周年記念事業

① 研修会

地域住民が主体的に運営に携わっている地域の拠点を訪問し、その理念や活動内容を伺うことで、今後の野ヶ谷の郷の運営に反映させること、またボランティア同士の交流を図ることを目的に実施した。

開催日時	11月27日（金）午前8時30分～午後5時30分
会場	①ケアセンター成瀬 ②宮ヶ瀬湖
内容	①施設見学、情報交換 ②散策
参加者数	21人

② リーフレットの作成

野ヶ谷の郷をPRするため、リーフレットを10,000部作成した。

★ 成果・反省点・課題

- ボランティアや地域の方々のご理解・ご協力のもと、開設5周年を迎えることができた。今後も、より地域住民が集い、交流する拠点づくりを目指していきたい。
- イベント・講座の開催及び野ヶ谷の郷だよりの発行回数が少なかった。

10 新規ランチの立ち上げ（西部コーナー）

平成21年10月1日、市民活動支援センター7番目のランチとして西部コーナーをオープン。10月3日（土）には開設記念セレモニーおよび枝見太郎氏による記念講演会『マザー・テレサとボランティアリズム』を開催した。（参加者42人）

第2 情報・資料の収集および提供

1 えんがわだよりの発行

ボランティア・市民活動情報を提供するため、年11回発行。隔月にタウン誌折込みを行うなど配布先拡大、市民の手にわたる配布方法を工夫した。

（1）概要

発行目的	市民活動に関する情報や市民活動支援センターの活動報告、ボランティア募集等を含めた内容で、センターを多くの方々に知ってもらい、利用していただくこと、また市民活動を促進し市民主体の支えあうまちづくりをすすめていけるよう課題を提起することを目的としている。
発行日	毎月25日発行
発行部数	・奇数月3, 500部（タウン誌「182」へ2, 000部折り込み 菊野台地区） ・偶数月1, 750部
配布先	・市内公共施設（地域福祉センター、図書館、児童館、青少年ステーションCAPS、公民館、体育館、小学校、中学校、高校、大学、郵便局、京王線駅頭など） ・市内企業 ・市民活動支援センターサポーター ・東京ボランティア・市民活動センターほか都内ボランティア・市民活動センター
内容	・特集記事（課題提起やまちの話題紹介など） ・ボランティア募集 ・市民活動支援センターの活動報告やお知らせ ・地域の市民活動情報、助成金情報など

(2) 各号の特集記事の内容

号数	内容
4月号 (No.45)	平成20年度えんがわファンド助成団体活動レポート①
5月号 (No.46)	平成20年度えんがわファンド助成団体活動レポート②
6月号 (No.47)	授業でつながる地域の輪～出前講座 福祉体験編～
7月号 (No.48)	座談会「家族介護者を地域で支えるために」～前編～
8月号 (No.49)	座談会「家族介護者を地域で支えるために」～後編～
9月号 (No.50)	障害者が働く おいしいお店
10月号 (No.51)	西部コーナー開設記念講演「マザーテレサとボランティア」
11月号 (No.52)	生きがいとしての「働く」を考える
1月号 (No.53)	いざという時のために、知っておきたい災害情報
2月・3月合併号 (No.54)	甘いチョコレートの実

★ 成果・反省点・課題

- 地域の活動団体や活動者・企業の取り組みの紹介、家庭や地域での提案、地域の課題、センターの情報提供など多岐にわたって紹介することができた。
- 今年度から運営委員からなる広報小委員会が結成された。それにより、多方向からの視点から特集記事を作り上げることができた。
- 11月号から隔月、運営委員によるコラム「縁側から見える風景」を開始した。これによってより親しみやすい広報紙となることができたのではないだろうか。これからも、広報小委員会を中心としてよりよい「えんがわだより」を作り上げていきたい。

2 えんがわだよりオンライン(えんがわだよりブログ版)

平成20年3月より、シーサー株式会社運営無料ブログサイトを活用し、WEB上で「えんがわだより」の配布をおこなっている。

過去記事を含めた掲載のほか、センターの日常風景をスタッフが書き込みアクセス数の増加を図っている。

3 市民活動支援センターホームページ運営

登録団体数については、市内のNPO法人「ちょうふどっとこむ」や、市内に存在する地区協議会、調布市立図書館の情報発信事業である「市民の手によるまちの資料情報館」のサイトと情報共

有を図り、現在約370の団体登録がある（前年度比50団体増加）。

ホームページの構成については、市民活動団体の情報の受発信（イベント予定や内容の報告、新規メンバー、ボランティア・参加者募集など）を支援すると同時に、2007年からは調布市の生涯学習・市民活動情報システム「さがす見つかるシステム」と連動してより多くの市民が市民活動に関わるきっかけを得る媒体のひとつとして情報の共有化、ページの見易さ、使いやすさを工夫している。

また、機能改善のため、「さがす見つかるシステム」の所管である生涯学習交流推進課とは月に1度、システムの運営会議を行いシステム改善についての意見交換を行っている。さらに、現在毎月紙媒体にて発行されている「えんがわだより」をインターネットでも閲覧できる「えんがわだよりオンライン」を設置し、記事の内容のカラー写真付きの紹介や、スタッフによる日々の市民活動支援センターの様子広報なども行っている。

今後も、さまざまなネットワーク間、団体間の情報共有、センター及びコーナーの事業予定を紹介してきながら、センターのサービス内容や報告等に関する情報提供にも力を入れていきたい。平成21年度は約78,465件のアクセスがあり、昨年度と比べ9,655件のアクセス増加となった。（昨年度比14%の増加率）

月	前年度比	平成21年度 アクセス数	平成20年度 アクセス数	平成19年度 アクセス数	平成18年度 アクセス数
4	98.0%	5,384	5,493	3,679	3,861
5	99.9%	5,872	5,879	4,695	3,605
6	113.2%	6,353	5,610	4,237	3,636
7	99.7%	6,292	6,309	システム変更の為計測せず	4,066
8	115.9%	6,253	5,393	5,839	3,718
9	132.6%	7,619	5,747	5,433	3,799
10	122.5%	7,412	6,051	5,982	3,641
11	130.0%	6,390	4,917	5,187	4,281
12	106.6%	5,738	5,384	4,906	3,553
1	112.4%	6,809	6,058	5,694	3,997
2	123.8%	7,215	5,828	5,455	3,464
3	116.1%	7,128	6,141	5,133	3,547
	合計	78,465	68,810	56,240	45,168
	平均増加率	平成21年度 平均アクセス数	平成20年度 平均アクセス数	平成19年度 平均アクセス数	平成18年度 平均アクセス数
	114.0%	6,539	5,734	5,113	3,764

★ 運営会議日程

場所：たづくり11階 生涯学習交流推進課

回数	実施日
第1回	4月9日（木）
第2回	5月14日（木）
第3回	6月11日（木）

第3部 市民活動支援センター

第4回	7月2日	(木)
第5回	8月6日	(木)
第6回	9月10日	(木)
第7回	10月8日	(木)
第8回	11月5日	(木)
第9回	12月10日	(木)
第10回	1月14日	(木)
第11回	2月18日	(木)
第12回	3月11日	(木)

★ 成果・反省点・課題

- 年々アクセス数も増加し、秋頃と年度末の時期には7,000件を超えた。連携している「さがが見つかるシステム」との相互協力により、市民にとってのわかりやすい情報提供を心がけたい。その具体案として、次年度はホームページのリニューアルを考えていく。

4 資料コーナーの充実

ボランティアやNPO活動関連だけでなく幅広い分野のチラシやポスターを配架掲示して、イベントや講座の開催、ボランティア募集等の多くの情報を提供した。また、調布市のみならず、都内で市民活動の拠点となっているセンターや施設、団体のニュースレターを閲覧と保存のため分野に分けファイルしている。閲覧用の図書や報告書類も積極的に収集している。

(1) 平成21年4月～22年3月に受入れたチラシ等の内訳

内 容	講座・講演	495件	分 野	ボランティア・市民活動支援	209件
	イベント	570		福祉・保健	526
	ボランティア募集	69		災害	24
	スタディスター・キャンプ	19		まちづくり・地域安全	89
	寄付・募金	27		人権・国際協力・男女共同参画	137
	団体・活動紹介	215		社会教育	51
	スタッフ・メンバー募集	67		環境保護	76
	助成金	55		文化・芸術・スポーツ	407
	その他	367		子ども	148
					その他

第3部 市民活動支援センター

	計	1, 884 件		計	2, 083件
体 裁	チラシ	1, 137件			
	ポスター	220			
	パンフレット他	303			
	計	1, 660件			

(2) 平成21年4月～22年3月に受入れたニュースレターの内訳

今年度新規受け入れタイトル・・・179タイトル

<内訳>

ボランティア・市民活動支援86件、福祉・保健38件、まちづくり・地域安全6件、人権・国際協力・男女共同参画14件、環境保護8件、文化・芸術・スポーツ17件、その他10件

(3) 主要誌6タイトルを定期購読

誌名	出版社	刊行頻度
ネットワーク	東京ボランティア・市民活動センター	隔月刊
ウォロ	大阪ボランティア協会	年10回
NPOマネジメント	IIHOE (人と組織と地球のための国際研究所)	隔月刊
ボランティア	富士福祉事業団	毎月
C'sニュースレター	シーズ・市民活動を支える制度をつくる会	隔月刊
NPOのひろば	日本NPOセンター	季刊

※その他の受入雑誌・・・「月間福祉」(全国社会福祉協議会発行)、ホームレスの仕事をつくり自立を応援する「ビッグイシュー日本版」など

(4) 閲覧用図書・報告書類の充実

今年度新規受け入れタイトル：74タイトル

<内訳>

ボランティア概論・NPO法人設立ガイド等11、市民活動支援12、福祉関連22、まちづくり9、災害4、教育4、協働3、その他12

(5) 視聴覚資料の設置

市民活動支援センターがおこなった過去の事業(えんがわミーティングなど)を掲示することにより、当センターの理解を深め、情報を共有することを目的とした。その他に市民活動や地域情報などに関する視聴覚資料も設置している。

市民活動支援センター事業	5
その他	2
合計	7

★ 成果・反省点・課題

- ニュースレターの受入れとチラシ等の受入れを今年度から別にしてデータ化した。これにより、事務負担を軽減でき、効率性を高めることができた。
- 利用者から掲示・配架物の量が多い故に、情報が伝わりづらい、資料コーナーをもっと活用すべきとの意見をいただいた。こうした意見を踏まえ、資料コーナー内の備品の配置換えを行った。今後も、情報提供の仕方や資料コーナーにおいて、工夫していきたい。

5 ふくしの窓3-4面「市民活動支援センターだより」の充実

隔月発行（新聞折込）のふくしの窓の3面及び4面の一部を「市民活動支援センターだより」とし、ボリューム・内容ともに充実を図った。

6 多様なメディア（媒体）を活用した情報提供

J-COM株式会社（CATV）、調布FM株式会社、タウン誌（182ch、くろすと一く）、地域ポータルサイト（ちょうふどっとこむ）各社のご協力を得て、多角的な情報提供に取り組んだ。

7 市民活動・生涯学習団体ガイドブックの作成

調布市生涯学習情報コーナーと協力し、市内の市民活動団体（NPO 法人含む）、生涯学習サークルの紹介冊子を作成した。

8 第29回調布ボランティアまつり

調布市内で活動するボランティア・市民活動団体が、活動の発表・展示・体験・実演、模擬店、バザー等を通して広く市民に活動への参加・交流を呼びかけることを目的に実施した。

※事業の目的としてはさまざまな側面があるが、PR要素が強いということで、この項に記載している。

開催日時	4月18日（土）午前9時45分～午後3時
会場	調布市市庁舎前庭

第3部 市民活動支援センター

内 容	活動の発表・展示・体験・実演、模擬店、バザーなど
参 加 者	約500人
主 催	調布市社会福祉協議会、第29回調布ボランティアまつり実行委員会
後 援	調布市、調布市教育委員会

(1) 参加団体 27団体

	団 体 名	内 容
1	NPO京王断酒会	酒害相談、アルコールパッチテスト体験、展示
2	菊野台点字サークル	点字体験
3	グループ なごみ茶屋	販売
4	高次脳機能障害者のつどい「調布ドリーム」	模擬店、展示、ステージ発表「合唱」
5	手話サークルくすの木	手話体験
6	手話サークル「調布の会」	ステージ発表「手話コーラス」
7	障害を負う人々・子どもたちと「共に歩む」 ネットワーク	販売、展示
8	深大寺 人と緑と犬の会	販売、捨て犬保護活動紹介
9	SOGIサポートセンター Lin MC Group、JAPANワーカーズ	葬送相談、手相占い、展示
10	大正琴ボランティア「楓会」	大正琴体験
11	調布災害時ボランティア・コーディネーターの会（調布SVC）	アルファ米の試食、展示、ステージ発表「三角巾の実演」
12	調布市登録手話通訳者の会	ステージ手話通訳
13	調布市立第三中学校吹奏楽部	ステージ発表「吹奏楽・合唱」、ブース手伝い
14	調布地域猫の会	販売、展示、猫の飼い主探し
15	調布ボランティア連絡会	展示
16	調布まちづくり市民フォーラム	模擬店、販売、展示
17	調布WAT	販売
18	野ヶ谷の郷運営委員会	無料休憩所
19	ひまわりグループ	販売
20	姫としもべ	ステージ発表「バンド演奏」
21	ボランティアグループ「深大寺こもれび」	販売、展示
22	ボランティアグループ「だんでらいおん」	茶席、ゲームコーナー、ステージ発表「手話コーラス」
23	ボランティアグループ「ログキャビン」	販売、展示
24	まちっこくん	販売

第3部 市民活動支援センター

25	調布明るい社会づくりの会	当日運営協力
26	わりばしリサイクルグループ「くるりん」	わりばし回収
27	調布市社会福祉協議会	ボランティア・市民活動相談、模擬店、ステージ発表「人形劇」

(2) 実行委員会の開催状況

回数	開催日時	開催場所	内容
第1回	平成20年度 10月20日(月) 午後6時30分～8時	総合福祉センター 201・202会議室	実行委員会の立ち上げ、世話人の選出、開催日時について
第2回	12月15日(月) 午後6時30分～8時	総合福祉センター 201・202会議室	実行委員長・副実行委員長の決定、実施要領について、開催日時について、参加団体の募集について、役割分担について
第3回	1月26日(月) 午後6時30分～8時	総合福祉センター 視聴覚室	キャッチコピーについて、参加団体・備品の確認について、役割分担について
第4回	2月16日(月) 午後6時30分～8時	総合福祉センター 視聴覚室	参加内容・会場配置の最終確認、会場配置の決定、広報について
第5回	3月9日(月) 午後6時30分～8時	総合福祉センター 201・202会議室	搬入・搬出について、前日・当日の準備について、広報について、団体紹介について
第6回	平成21年度 4月13日(月) 午後6時30分～8時	総合福祉センター 201・202会議室	最終確認、催行・中止の判断及び中止時の対応について
反省会	5月11日(月) 午後6時30分～8時	総合福祉センター 201・202会議室	反省会

★ 成果・反省点・課題

- 参加団体及び来場者が減少している。いかに参加・来場してもらうか、内容の検討が必要。
- 第三中学校吹奏楽部がステージ発表と各ブースの手伝いで参加し、イベントに活気が出た。

9 第18回菊野台ボランティアまつり

開催目的	菊野台地区で活動しているボランティアグループ、およびボランティア活動に関心がある人が一堂に会し、日頃の活動を紹介するとともに、相互交流をはかり、ボランティア活動に関する情報提供、および地域の人々への啓発を目的として行う。
日時	5月31日（日）午前10時～午後3時
内容	ボランティアグループの紹介・体験コーナー（点字）、模擬店、ミニバザー、外国人による日本語スピーチ、中学生の合唱とバザーコーナーでの販売協力、住宅修理相談コーナー、包丁とぎ、鉢物の販売、情報交換、交流、啓発、各種相談コーナー
会場	菊野台地域福祉センター
参加者数	参加団体20団体 来場者約400人
運営	菊野台ボランティアまつり実行委員会

10 菊野台地域福祉センター交流のかけはしへの参加（中止）

事業内容	地域福祉センターを定期的に利用している団体が年に1回一堂に会して交流し、活動発表を行う場として、財団法人コミュニティ振興財団主催により開催。
開催日時	9月27日（土）・28日（日） 午前10時～午後3時30分
会場	菊野台地域福祉センター
参加内容	コーナーの紹介、交流、相談コーナー

11 平成21年度富士見ふれあいのつどい（小地域交流事業を兼ねる）

※ 再掲

開催目的	地域にある福祉団体や施設、学校、ボランティア団体が参加し、実行委員として企画・運営にかかわり交流を図りながら、ともに地域福祉の向上を図ることを目的として年1回開催している。
日時	平成21年6月20日（土）午前10時～午後3時
会場	富士見地域福祉センター
内容	舞台発表、模擬店、リサイクルバザー、自主製品展示・販売、各種相談コーナー、ゲームコーナー、工作コーナー、参加型イベント
参加者数	参加団体35団体、個人4名、来場者480名
運営	小地域交流事業「富士見ふれあいのつどい」実行委員会

12 「うたごえ喫茶 IN 富士見」(平成21年度小地域交流事業)※ 再掲

開催目的	老若男女問わず、懐かしい唱を皆と一緒に声を合わせて歌うことで、楽しみながら元気になれるふれあい交流の場づくりとして、毎月1回定期的に開催している。		
日 時	① 平成21年 4月18日 67人 ② 平成21年 5月16日 64人 ③ 平成21年 7月18日 53人 ④ 平成21年 8月15日 54人 ⑤ 平成21年 9月19日 64人 ⑥ 平成21年10月17日 72人 ⑦ 平成21年11月21日 70人 ⑧ 平成21年12月19日 74人 ⑨ 平成22年 1月16日 63人 ⑩ 平成22年 2月20日 74人 ⑪ 平成22年 3月20日 71人 いずれも土曜日午後1時半～3時半 ⑨～⑪ クリスマス交流会		
会 場	富士見地域福祉センター大集会室		
演 奏	ピアノ伴奏 佐伯恵美氏	参加費	300円(歌集、飲み物つき)
参加者数	延べ726人(各回平均66人) ※市内全域から参加の高齢者が昔を懐かしむように歌っている。		
運 営	小地域交流事業「うたごえ喫茶 IN 富士見」実行委員会		

13 「ボランティア交流会・ふれあいのつどい準備会」(小地域交流事業)※ 再掲

日 時	平成22年3月13日(土)午前10時～12時半		
会 場	富士見地域福祉センター大集会室		
内 容	富士見コーナーを拠点に活動している団体や施設との情報交換と交流		
参加者数	45人(スタッフ6人)		
予 算	小地域交流事業費(門前そば打ちクラブの手打ちそば)		
運 営	富士見コーナー推進委員		

1.4 富士見コーナー推進委員会の開催

富士見コーナーの活性化を図り活動を支援し、ボランティア活動の推進発展のため事業の企画、運営を担う目的で開催。

回数	開催日時	会場	人数	内容
第1回	平成21年度 7月23日(木)	富士見地域福祉センター	6人	ボランティア講座「はじめの一步」、料理教室等今年度事業企画
第2回	10月31日(土)	富士見地域福祉センター	5人	調理講座らくらくクッキング 福祉講座「介護保険の基本」
第3回	1月30日(土)	富士見地域福祉センター	6人	ボランティア交流会の企画、準備 22年度事業計画

1.5 富士見地域福祉センター 交流のかけはしへの参加

事業内容	地域福祉センターを定期的に利用している団体が、年に1回一堂に会して交流し、活動発表を行う場として、財団法人コミュニティ振興財団主催により開催
開催日時	平成21年11月8日(日) 午前10時から午後3時30分
会場	富士見地域福祉センター
参加内容	コーナー紹介、相談コーナー、リサイクルバザー、模擬店

1.6 第13回ボランティアまつり染地

開催目的	地域で活動するボランティア・市民活動団体を中心に、当事者団体、施設、学校などが一堂に会し、企画、運営をとおしての交流をしながら、地域のボランティア力を広げる
開催日時	5月17日(日) 午前9時30分～午後3時
会場	染地地域福祉センター
内容	「みんなあつまれ、ともだちになろうぱーとⅡ」をテーマに、参加団体に実行委員会へ参加し、ともに作り上げることの大切さを呼びかけた2年目。今年も第三中学校吹奏楽部の保護者と多くの生徒が当日手伝いに入り、盛り上がった。※実行委員会全4回開催 ※朝のうち雨天だった為、参加を取りやめた団体あり。 活動紹介、模擬店、作品展示販売、ミニバザー、相談コーナー、体験コーナー、子供コーナー
参加者数	参加団体38団体 13個人ボランティア(新規参加3団体) 来場者450人

17 第9回緑ヶ丘・仙川ふれ愛のつどい ※再掲

開催目的	ボランティアまつりと小地域交流事業を同時開催することによって地域の福祉施設、学校、児童健全育成団体、自治会、老人クラブ等、まちづくり協議会など多種多様なボランティア・市民活動団体が出会い、交流を行いながら地域福祉の向上をはかることを目的に開催。世代間交流を目的として、児童館まつりと同日開催で実施。
日時	10月18日(日) 午前10時～午後3時30分
会場	緑ヶ丘地域福祉センター
内容	活動紹介・発表、手作り品販売、ウェスタンバンド演奏(オッズ・エンド・エンズ)、手話ソング・合唱(手話らんど&あいことば)、和太鼓(風真)、演奏(白百合女子大学 アンサンブル・リスブラン)、歌・踊り(ふれあい給食)、キッズダンス(Bless You Dance Company)、日本舞踊(若葉扇乃)、歌(高齢者会食・ミニデイ) みんなで歌おう(童謡を歌う会)、みまもっと体操・血圧測定&相談(地域包括支援センター仙川)、よさこい(皆さん)、クッキー販売(希望の家)、お茶席(緑樹会)、バザー(白百合女子大学)、佃煮販売(わりばしくるりん)、焼きそば(ボーイスカウト調布第10団)、お団子販売(2丁目自治会)カフェ&生チョコ・バザー(ボランティア連絡会)
参加者数	参加団体23団体、来場者300人

18 交流のかけはし・緑ヶ丘への参加

事業内容	地域福祉センターを定期的に利用している団体が年に1回一堂に会して交流し、活動発表を行う場として、交流のかけはし緑ヶ丘実行委員会主催、財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団協力により開催。
開催日時	11月14日(土)、15日(日) 午前10時～午後3時
会場	緑ヶ丘地域福祉センター
参加内容	コーナーの紹介、交流、相談コーナー

19 西部ふれあいのつどい(小地域交流事業) ※再掲

開催目的	地域にある福祉団体や施設などが参加し、実行委員として企画・運営にかかわり交流を図りながら、ともに地域福祉の向上を図ることを目的として年1回開催している。
日時	11月22日(日) 午前10時～午後3時
会場	西部地域福祉センター
内容	舞台発表、血圧測定、めがねの洗浄、焼菓子販売、介護保険相談コーナー、社協・西部コーナーの紹介

第3部 市民活動支援センター

参加者数	来場者 224 人、スタッフ 29 人（来場者のうち）
運 営	小地域交流事業「西部ふれあいのつどい」実行委員会

第3 ボランティア・NPO・市民活動団体、個人の活動支援

1 スペース・設備の貸出し

市民活動団体の会議、作業、打ち合わせなどさまざまな目的に応じてスペースを貸出し、その運営管理を行った。

(1) 市民活動支援センター（国領）来館者およびはばたき利用状況

□来館者数推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来館者数	3,102人	2,802人	3,565人	3,479人	5,405人	3,056人
一日平均	107.0人	93.4人	123.0人	116.0人	180.2人	105.4人
前年度 同月比	135%	106%	127%	104%	217%	107%
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来館者数	3,366人	2,916人	2,731人	3,168人	4,211人	3,671人
一日平均	112.2人	100.6人	101.1人	117.3人	156.0人	122.4人
前年度 同月比	106%	102%	115%	117%	127%	127%

□活動スペースはばたき・OAコーナー利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月間 利用者数	2,694人	2,497人	3,307人	3,078人	2,505人	2,766人
一日平均	92.9人	83.2人	114.0人	102.6人	83.5人	95.4人
前年度 同月比	126%	108%	133%	113%	118%	111%
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間 利用者数	3,148人	2,646人	2,384人	2,724人	3,457人	2,991人
一日平均	104.9人	91.2人	88.3人	100.9人	128.0人	99.7人
前年度 同月比	112%	106%	119%	118%	121%	121%

□ 年間来館者・利用者数総計と利用内訳

【総数】

	20年度	21年度	増減率
来館者数	33,747人	41,472人	123%
利用者数	29,204人	34,197人	117%
相談件数	251件	275件	110%※

【利用内訳】

	20年度	21年度	増減率
活動	2,073件	2,390件	115%
会議、打ち合わせ	1,218件	1,072件	88%
パソコン利用	4,366件	4,231件	97%
学習	2,516件	4,222件	168%
その他	1,088件	1,084件	100%
展示	6件	7件	117%

※ 相談件数について

相談として捉えた内容を、一旦紙媒体に詳しく記入し、コンピューター上にデータとして蓄積する相談記録システムが今年度試行された。相談記録内容については、道案内やその場で完結する簡易なものを外している。相談記録システム導入に伴い、数的傾向は把握できるようになった為、今後は相談内容をデータベースから把握できるシステムを検討していく。

(2) ブランチ活用状況

拠 点	スペース活用状況		来所者数	
	件 数	一日平均	人数	一日平均
小島町コーナー	658件	1.5件	4,279人	13.0人
菊野台コーナー	809件	6.2件	1,675人	12.8人
富士見コーナー	342件	2.0件	3,676人	25.0人
染地コーナー	587件	4.2件	7,346人	52.0人
緑ヶ丘コーナー	256件	1.7件	2,486人	17.2人
西部コーナー	152件	1.3件	1,168人	10.2人
合計	2,804件	2.8件	20,630人	21.7人

(3) メールボックス、ロッカーの貸し出し（国領）

活動室内に設置されているロッカーおよびメールボックスを希望する市民活動団体に貸出し、その運営管理を行った。

内 容	20年度	21年度
メールボックス利用件数	37件	40件
ロッカー利用件数	89件	102件

2 ボランティア保険・行事保険の加入受付

ボランティア保険への加入促進の呼びかけと加入手続きの事務を取り扱った。

ボランティア保険加入者数（通年保険・受付随時）		2,972人	
行事保険加入件数	A型（日帰り行事）	321件	8,249人
	B型（宿泊行事）	23件	526人

3 無線 LAN スポット運営（小島町）

平成16年度よりセンターの利用価値向上、情報分野からの市民活動支援を目的として無線 LAN のポイントを調布市総合福祉センター2階フロアに設置。これにより活動室、会議室、交流スペースなど2階一帯において、各自持ち込みのパソコンでインターネット接続が可能になっている。

- (1) サービス名：Free Spot（フリースポット協議会提供・バッファロー株式会社）
- (2) 方 式：IEEE802.11b
- (3) 利用方法：窓口で利用規約および利用登録申請書を入力。（あるいはホームページよりダウンロード）規約に同意し、申請書に必要事項を記入して提出。ESSID(SSID)と暗号化キー(WEP)を受け取り、利用マニュアルを参照して各自持ち込みのパソコンに設定して利用する。

★ 成果・反省点・課題

- 利用登録者数99人。個人利用のほか、会議室等利用者が視覚障害者を対象としたパソコン講習会や、障害者・高齢者対象のパソコン学習会の実施に際して利用されていることが多い。
- フリースポットを設置しているという情報が広まった上、調布駅前に位置する利便性から市民活動団体以外に、社会人がインターネット回線を利用しながら、仕事をするために登録することが多い。

4 無線 LAN スポットの設置・運営（国領）

センターの利用価値向上、情報分野からの市民活動支援を目的として無線 LAN のポイントを中心に市民活動支援センター活動スペースはばたきに設置。これによりセンター内 OA コーナーだけでなく、各自持ち込みのパソコンでインターネット接続が可能となっている。

- (1) サービス名：Free Spot（フリースポット協議会提供・バッファロー株式会社）
- (2) 方式：IEEE802.11b
- (3) 利用方法：窓口で申請書に必要事項を記入して提出。ESSID (SSID) と暗号化キー (WEP) を受け取り、貸し出し用パソコンまたは各自持ち込みのパソコンに設定して利用する。

★ 成果・反省点・課題

- フリースポットを利用しにくる方もおり、今後も継続して提供していきたい。

5 電話対応代行サービス（国領 有料サービス）

平成17年度より、市民活動団体の支援サービスとして、活動やイベント・講座等に関する問い合わせ、受け付けの電話対応代行サービスを実施している。

利用料金	1,000円/月（サポーター会員は800円/月）
利用団体数	平均月6団体（通年利用2団体、そのほかスポットで11団体）
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体の活動に関する問合せ応答代行 ・ 行事、講座などへの内容照会および参加申込受付代行

★ 成果・反省点・課題

- 昨年度に比べると申し込み団体数が2団体減ったが、変わらず1ヶ月3団体から最大で9団体の利用があり、市民団体・ボランティア団体などにとっては利便性のあるサービスとなっている。
- 新規団体が4団体あり、リピーターが9団体となった。リピーターには申込時の煩わしさを避けるため、昨年度まで頂いた資料を元に、申込書の一部のみ記入していただけるよう工夫した。

6 市民団体向け IT 講座

ボランティア・市民活動団体に所属する市民を対象とし、

- ① パソコンを活用してより効率的に活動につなげる
- ② パソコンに対する興味を高め、技術を身につける
- ③ 他の団体との交流の機会を持つ

以上3点を目的として、市内のボランティアネットワーク「やあやあネット」主催の市民団体向け IT 講座を調布市とともに共催した。

期	開催日	参加者数	スタッフ
第1期(全5回) 午後6時30分～ 8時30分	8月5日、12日、19日、26日、9月2日	3人	4人
	会場：調布市市民プラザあくろす会議室1		
第2期(全5回) 午後6時30分～ 8時30分	11月4日、11日、18日、25日、12月2日	7人	5人
	会場：調布市市民プラザあくろす会議室1		
第3期(全5回) 午後6時30分～ 8時30分	1月13日、20日、27日、2月3日、10日	4人	4人
	会場：調布市市民プラザあくろす会議室1		

★ 成果・反省点・課題

- 市民団体におけるPC活用手段である、インターネットでの情報受発信、ワードを利用したチラシ作成、エクセルを使用した予定表及び出納帳・名簿の作成を企画した。応募者は平均してほぼ定員であり、今後、継続した企画としてフォローアップを行っていくことにより、市民活動の情報化をより高められると思われる。
- 「団体同士の交流」については各期の最終回に30分程度の交流の時間を持つことができ、さらに交流を通して連携イベントや会場である市民活動支援センターを団体が利用するなどの効果が現れた。
- 講座内容については大変好評で継続的な講座の開催希望の声も多く聞かれた。インターネットでは目標レベルに到達できたが、ワードやエクセルについては、参加者のレベルに幅が見られた。

7 NPO法人設立・運営に関する講座

社会課題の解決に取り組むべく、組織的に活動するNPOの活動を支援し、あたらしい活動、あたらしい団体の誕生を支援することを目的としてNPO会計講座、NPO法人設立講座を実施した。

(1) えんがわマネー講座 『イチからわかるNPO会計』

第1回	日時	3月25日(木)午後6時～9時		
	会場	市民プラザあくろす会議室1	参加人数	9人
	内容	テキストを使用した講義(NPOに必要な会計書類、作成の注意点、会計の基礎)		
第2回	日時	3月26日(金)午後6時～9時		
	会場	市民プラザあくろす会議室1	参加人数	7人
	内容	前半は講義、後半は個別相談会		
講師	馬場 利明さん(NPO支援会議東京、税理士、社会保険労務士)			
費用	各回 1,000円			

★ 成果・反省点・課題

- アンケート結果によると、講座の内容は高評価であった。これから会計担当になるにあたり不安が解消されたとの意見や、既に担当しておりそのときに出た疑問が解消されたなどの意見をいただいた。実際のNPO法人の会計書類のコピーが配られ、実践に基づくわかりやすい説明を聞くことができた。
- 参加者が少なかったので、開催時期や広報についてももう一度検討していく。

(2) NPO入門講座

NPOについての説明、特定非営利活動促進法の解説、法人化の意義、必要な実務、特定非営利活動法人（NPO法人）として活動している団体の体験談などを学ぶ講座を実施した。

	日時	会場	参加者数	参加費 (資料代)	講師
第1回	5月21日(木) 午後7時～9時	市民プラザあくろす 会議室1	14人	500円	<事例紹介> 横山泰治氏（NPO法人市民活動推進協会専務理事） <講義> 市民活動支援センター スタッフ
第2回	7月29日(水) 午後7時～9時	市民プラザあくろす 研修室3	12人		
第3回	9月29日(火) 午後7時～9時	市民プラザあくろす 会議室2	8人		
第4回	11月30日(月) 午後7時～9時	市民プラザあくろす 会議室1	15人		
第5回	1月29日(金) 午後7時～9時	市民プラザあくろす 会議室1	12人		
第6回	3月18日(木) 午後7時～9時	市民プラザあくろす 会議室1	10人		<事例紹介> 小林孝氏（NPO法人ちようふこどもネット理事長） <講義> 市民活動支援センター スタッフ

★ 成果・反省点・課題

- 少人数の定員設定（12人）にして、参加者一人ひとりのニーズや疑問に対応できる講座内容を目指したところ、参加者アンケートでは満足度を上げることができた。
- 20年度より開催回数を増やし、隔月で開催した。毎回10人前後の参加があり、ニーズの高さを感じた。
- 本講座の参加者が、法人設立やセンターへの相談につながっていないのが課題。

8 使用済み切手、カード類の回収

「使用済み切手、カード類」の回収のため、市役所、地域福祉センター、郵便局等に回収箱を設置。企業、老人クラブ、幼稚園、小学校、市民からの寄付・回収された切手・カード類は、ボランティア団体の協力により整理されたものを換金した。

種類	売上げ金額	換金日	備考
カード類	33,000円	平成22年3月11日	テレホンカード その他のカード
切手類	49,700円	平成22年3月11日	日本通常切手(台紙あり) 1kgあたり 600円 日本通常切手(台紙なし) 1kgあたり 1,000円 外国切手(台紙あり) 1kgあたり 2,000円 束ね切手
合計金額		82,700円	

9 入れ歯リサイクル活動への協力

特定非営利活動法人日本入れ歯リサイクル協会が実施している入れ歯リサイクル活動に協力し、調布市総合福祉センター1階に回収ボックスを設置した。

この活動によって得られる益金の一部(40%)は調布市社会福祉協議会に配分され、その配分金全額が「えんがわファンド」の資金として活用される。

21年度は、34,730円が配分された。

10 NPO・市民活動団体への情報ペーパー「エンガワンK」配布

NPO・市民活動団体が日々の運営や活動において、共通の質問や課題としている内容を、A5サイズの紙にまとめた「エンガワンK」を引き続き配布した。栄養ドリンクのように見えるパッケージの裏側に、「会議」、「イベント」、「広報」をテーマに作成している。

内容 テーマ	総合編	地域情報編	グッズ編
会議で悩んでいませんか？	活発な会議とは？ 【内容】 進行についてのアイデア等 【配布数】約100部	会議しやすい施設とは？ 【内容】 市内の会議可能施設紹介 【配布数】約100部	会議上手のグッズとは？ 【内容】 会議時に使えるグッズ紹介 【配布数】約100部
イベント成功していますか？	成功するイベントとは？ 【内容】 イベント企画時の注意点等 【配布数】約100部	市内のイベント施設は？ 【内容】 市内の屋外施設紹介等 【配布数】約100部	イベントお役立ちグッズとは？ 【内容】 用意しておく便利グッズ 【配布数】約100部
広報は上手にされていますか？	伝わる広報とは？ 【内容】 広報のアイデア等 【配布数】約100部	市内で広報するには？ 【内容】 広報のアイデア等 【配布数】約100部	広報役立ちグッズとは？ 【内容】 グッズ編 ～作成中～
事務は効率的ですか？	効率的な事務とは？ 【内容】 事務作業のヒント等 ～作成中～	効率的な事務とは？ 【内容】 市内情報編 ～作成中～	効率的な事務とは？ 【内容】 グッズ編 ～作成中～
インターネットは活用していますか？	活用するには？ 【内容】 情報検索編 ～作成中～	活用するには？ 【内容】 団体情報発信編 ～作成中～	活用するには？ 【内容】 イベント情報発信編 ～作成中～

★ 成果・反省点・課題

- A5一枚で読み易くまとめていることから、多くの市民活動支援センターの利用者の方に読んでもらうことができた。

11 市民活動助成事業「えんがわファンド」の実施

平成18年度より実施している助成金プログラム。幅広い分野の市民活動や児童・生徒のボランティア活動・地域活動を支援すること、また本助成事業を通して、団体同士、あるいはセンターと団体が相互に交流し、協力しあう関係を構築することを目的に実施した。

この助成金は、市民や企業等からいただいた寄付やサポーター会費、ちょうふチャリティーウォーク参加費、共同募金配分金、使用済み切手・カード等の販売、入れ歯のリサイクルによる益金等、様々な資金を活用して運用している。

(1) 選考

① 選考会の開催状況

開催日	5月23日(土)午後4時～6時
会場	市民プラザあくろす研修室3
内容	各団体から提出された申請書により、助成団体を選考 応募団体20団体(後日2団体辞退)の中から、16団体に助成決定

② 選考委員 (敬称略・50音順)

金子 日出澄	市民活動支援センター運営委員、市民活動支援センター長
橋本 郁子	市民活動支援センター運営委員、調布災害時ボランティア・コーディネーターの 会代表
◎日比生 信義	市民活動支援センター運営委員長
水田 征吾	ちょうふチャリティーウォーク2009副実行委員長
和田 敏明	市民活動支援センター運営委員、ルーテル学院大学教授

◎…選考委員長

(2) 助成団体 計16団体 助成総額958,470円 (申請順)

	団体名	助成額(円)	助成内容
1	若葉の森の会	59,750	若葉町3丁目第3緑地の維持・保全のための 機材購入
2	調布GAGANI	56,720	知的障害児(者)の余暇活動のための備品 購入
3	調布デイジー	60,000	デイジー版教科書製作講習会の実施
4	深大寺 人と緑と犬の会	100,000	セラピー犬活動(福祉施設訪問)を行う犬・ 飼い主ペアの育成
5	飛田給福祉のまちあるき実行委 員会	50,000	飛田給地域のまちづくり
6	畑づくりボランティア	70,000	福祉施設などの畑づくり活動のための備品 購入
7	グループあい	85,000	音訳活動のための機材購入
8	調布わいわいサロン	20,000	地域デビュー支援の促進
9	調布市知的障害者地域デイス ビス ちーむ夢人間「にこにこ・ キッズルーム」	42,500	障害児デイスビスのための備品購入

第3部 市民活動支援センター

10	エールの会	50,000	精神障害者と家族が楽しむイベントの実施
11	調布市民健康づくり始める会	50,000	健康づくりのためのイベント・講習会の実施
12	S P C ネット多摩	24,500	グリーンケアの実施
13	ちょうふ環境市民会議	60,000	団体リーフレットの作成
14	調布市立第三中学校吹奏楽部 保護者会	80,000	地域に根ざした活動を行う吹奏楽部の支援
15	ぽけっと（障害者・青年の集い）	50,000	知的障害者の余暇活動及び性教育、外出用 パンフレット作成
16	特定非営利活動法人 ひなげしの会	100,000	回収したペットボトルキャップの保管場所 の設置
合 計		958,720	

(3) 交流会 ※平成22年度に実施

日 時	平成22年4月24日（土）午後1時30分～3時30分
会 場	市民活動支援センター「はばたき」
内 容	助成団体による報告（ポスターセッション）

(4) 寄付金等

21年度に「えんがわファンド」にいただいた寄付金等は以下のとおり。

提供者・概要 ※敬称略	金 額
ちょうふチャリティーウォーク2009参加費	274,133円
サポーター会費	126,000円
使用済み切手・カード等販売	82,700円
その他寄付金	35,947円
合計	518,780円

★ 成果・反省点・課題

- 一団体上限10万円、総額100万円という、他助成金と比較して小規模な助成金だったが、地域に根ざした活動を行っている多くの団体から応募があった。
- 助成団体と市民活動支援センターとの「顔の見える関係」をつくることを目的に、センター職員が団体の活動を見学し、意見交換を行った。
- 21年度の助成で、同一事業の助成期限（3年）を迎えた団体が5団体あった。
- より活用しやすい助成金となるよう、助成対象期間や学校への助成のあり方等、募集内容を検討していきたい。
- 安定したファンド運用のため、様々な資金調達方法を検討していきたい。

第4 ボランティア・NPO・市民活動コーディネート

1 相談対応、ボランティア・市民活動支援

相談対応、活動支援、活動紹介等コーディネート機能を強化し、市民の主体的な活動を支援した。

(1) ボランティア団体及びボランティア登録状況

拠 点	登録団体		個 人
	団体数	構成メンバー数	
小島町コーナー	108 団体	4,744 人	343 人
菊野台コーナー	22 団体	2,755 人	8 人
富士見コーナー	15 団体	239 人	38 人
染地コーナー	29 団体	291 人	35 人
緑ヶ丘コーナー	6 団体	90 人	45 人
西部コーナー	0 団体	0 人	4 人
合 計	180 団体	8,119 人	473 人

(2) 相談業務及びコーディネート事業

拠点	相談件数	ニーズ受付件数		対応件数	対応人数
		個 人	団 体		
小島町コーナー	2,092 件	個 人	1,198 件	1,105 件	2,135 人
		団 体	270 件	272 件	704 人
菊野台コーナー	98 件	個 人	42 件	38 件	59 人
		団 体			
富士見コーナー	60 件	個 人	38 件	30 件	46 人
		団 体			
染地コーナー	310 件	個 人	64 件	60 件	143 人
		団 体			
緑ヶ丘コーナー	37 件	個 人	25 件	22 件	25 人
		団 体	12 件	9 件	58 人
西部コーナー	59 件	個 人	4 件	2 件	2 人
		団 体	0 件	0 件	0 人
合 計	2,656 件		1,653 件	1,538 件	3,172 人

★ 成果・反省点・課題

- 保育、児童の送迎など継続的、日常的にサポートが必要なボランティアニーズが急増し、（小島町コーナー前年比 約1.5倍のニーズ受付件数）コーディネートに苦労した。かなりのニーズには応えることができたものの、人材育成、地域への働きかけ、関係機関との連携など課題が積み残しとなった。

2 子育て支援・ひまわり（緑ヶ丘コーナー）

開 催 目 的	①健康な心を取り戻すため ②辛い気持ちなどの分かち合い ③育児に関するアドバイス
開 催 日	通年 8月と12月を除く、毎月2回開催（火曜日） 4月14, 21日・5月12, 19日・6月2, 16日・7月7, 21日 9月8, 15日・10月6, 20日・11月10, 17日 1月12, 19日・2月2, 16日・3月9, 16日
内 容	おしゃべりをしながら、食事作りを楽しむ。 作ったものを試食しながら、話をしたり、アドバイスをしたり育児相談に対応したりする。
会 場	緑ヶ丘地域福祉センター
参 加 者	延べ48人
講 師	子育てアドバイザー 船山 和子氏
支 援	社会福祉法人 三社会 緑ヶ丘保育園

本事業については一応の成果もあり、参加されていた方への本事業の目標は達成できたと言える。来年度については緑ヶ丘保育園とも話し合いを持った上で本事業は今年度末をもって一旦終了することを決めた。

第5 ボランティア・NPO・市民活動団体、企業や行政との協働

1 専門家による高齢者・障害者世帯の無料家具転倒防止工事の受付

災害時の家具転倒対策が自力では難しい高齢者・障害者世帯を対象に、建設産業に従事する職員の労働組合「東京土建」が無料で実施する、家具転倒防止工事の広報と受付を行った。

作業日時	11月29日（日）午前10時～正午
対 象 者	市内在住の高齢者（65歳以上）・障害者のみの世帯
内 容	一室分の家具の転倒防止金具の取り付け作業
作 業 数	19世帯（定員20世帯）
料 金	一部屋に限り無料
主 催	東京土建一般労働組合調布支部

★ 成果・反省点・課題

- 阪神・淡路大震災では、犠牲者の80%以上が家具による圧死との事例があり、家具転倒防止作業は有効な防災手段となっている。しかし、高齢者や障害者のみの世帯では対策をとることが難しいため、そうした方々を対象に、工事を無料で行っていることは非常に有

意義なことだと思われる。

- 20年度は定員を大幅に下回る申込み（8世帯）だったが、21年度はほぼ定員に達する申込みがあった。今後も当事業の有効性を高齢者や障害者のみの世帯に広報し、より多くの世帯が作業を受けられるようにしたい。

2 平成21年度東京都・世田谷区・調布市合同総合防災訓練への参加

いざというときの対応に備えるシミュレーションとして、東京都・世田谷区・調布市が合同で実施した防災訓練に参加した。複数ある会場のうち、世田谷区・調布市連携会場である仙川駅周辺で訓練を行った。

日 時	8月30日（日）午前9時～午後0時10分
会 場	仙川駅前公園～周辺地域
内 容	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 まちあるき及び防災マップづくり 災害要援護者ニーズ調査
参加者数	20人
協 力	調布災害時ボランティア・コーディネーターの会 東京ボランティア・市民活動センター 世田谷ボランティア協会

★ 成果・反省点・課題

- 当初は区市連携訓練として、世田谷区側とも連携した訓練を行う予定だったが、衆議院議員選挙と日程が重なったことによる訓練規模の縮小により、予定を変更して実施した。

3 市民のための災害講座「体験してみませんか？避難所生活！」の実施

市民の災害に関する意識を高めることを目的に、調布災害時ボランティア・コーディネーターの会（調布SVC）と共催で開催している。

実施日時	10月17日（土）午前9時～午後0時30分
会 場	調布市立深大寺小学校
内 容	防災備蓄倉庫・防災用品の見学、濾水器・簡易トイレ・発電機体験、段ボール間仕切り・ほのぼのあかり（簡易照明）作製、災害時医療についての講義、グループ討議
参加者数	29人
主 催	調布災害時ボランティア・コーディネーターの会

共 催	社会福祉法人調布市社会福祉協議会
協 力	調布市総務部総合防災安全課 調布市立深大寺小学校

★ 成果・反省点・課題

- この他、地区協議会からの依頼で3月に本講座を開催した（調布SVCが単独で参加）。今後
も自治会等の防災訓練で本講座を取り入れてもらうよう、PRしたい。
- プログラム内容を検討・改良し、より避難所を想定した、実践的な講座にしていきたい。
- 会場の確保が課題。調布SVCとも連携して、会場となる小中学校に積極的に働きかけていき
たい。

4 やあやあドリームオールスターズ「こどもあそび博覧会7」実施協力

学校と地域の連携を深め、「地域で子どもを育もう」という視点で、市民活動団体が中心となっ
て実行委員会を立ち上げ開催したイベントに共催した。

市民活動団体や個人が、体験型・参加型のさまざまなブースを設け、親子や友達同士また地域の
人たちとふれあいながらいろいろな気づきを得られることを目的として実施。

日 時	11月1日（日）午前10時～午後3時
会 場	調布市立緑ヶ丘小学校
来場者数	約520名 スタッフ数：102名
主 催	やあやあドリームオールスターズ2009実行委員会
共 催	やあやあネットワーク、社会福祉法人調布市社会福祉協議会
協 賛	調布市
協 力	調布市立緑ヶ丘小学校、長野県木島平村
後 援	調布市教育委員会

(1) 参加チーム一覧

チーム名	参加内容
染地剣道会	参加者は着衣の上から胴衣と袴を着け（希望者のみ）、さらに 小手・面・胴を着装する。面の上に「紙風船」を取り付けて互 いに竹刀で打ち合います。
手話サークルくすの木	・参加された方々に簡単な手話指導（例：あいさつ、名前） ・体験を通して一般の方に聴覚障害をご理解いただけるように、 啓発を行う。
菊野台点字サークル	・点字で名刺を作成する。 ・点字で名前シール作成する。 ・その他、点字を打つ体験

第3部 市民活動支援センター

おはなしキャンプ	体験絵本の世界～巨大シャボン玉に入ろう～ 本・絵本などの展示・フリースペース、巨大シャボン玉に入ろう、絵本の読み聞かせ。
キャラクターワークショップ キャラキッズ	布のデザインに自分で考えたキャラクターの世界をデザイン。さらにぬいぐるみのキーホルダーを作り、バッグにつける。キャラクターテーマは“森の仲間”
電通大「おもちゃの病院」	壊れたおもちゃ、壊してもいいおもちゃを持ち寄り、先生と子どもたちと一緒に分解・修正し、動く仕組みを学ぶ。
東京お手玉の会	・俵型のお手玉を作る ・いろいろな遊び方を覚える ・級位に挑戦する
セラピーサークル マダムポアン	スライム作成体験
特定非営利活動法人 ちょうふこどもネット（CAPS）	サンドブラストを利用し、ビンやタイルに模様をつける体験。マキシングシートに好きなデザインをし、切り抜いてビンやタイルに貼る。その後、サンドブラストでキズをつけ、シートをはがして出来上がり。
ボランティアグループ だんでらいおん	手作りゲームコーナー、茶道体験
調布女性ヒューマニズム会議	「キミは日本人？地球人？」 ビデオ上映及びパネル展示
川井収のテニス学校	ミニテニスコート（ミニラケット、スポンジボール使用） テニスの当て（ミニラケット、スポンジボールでの的当てゲーム）
特定非営利活動法人 全国教育ボランティアの会	生きいきワクワク体験親子の集い コンニャク作り：こんにゃく粉からコンニャクを作って、「さしみコンニャク」と「田楽」して食べよう。
特定非営利活動法人 d o b eくらぶ	パソコンのペイントでじぶんだけのマークでデザインを作りブリクラシールを作る。
調布市民放送局（CATCH）	バーチャルスタジオを設置。カメラの前でレポーター体験
FC 東京	ソフトサッカーボールリフティングコンテスト ドリブルコンテスト 選手紹介パネル
スーパー紙とんぼの会	3×9cmの補強付き。おもり付きのスーパー紙とんぼ作りと、飛ばし方の指導
特定非営利活動法人 市民活動推進協会 野遊びくらぶ	身近なものを使用した野遊び体験ブース

第3部 市民活動支援センター

日本和紙造形研究所	和紙造形体験
調布市サウディアラビア友好会	アラビア語で書いてみよう！うまく書けた人には現地でしか食べられないおいしいデイツをどうぞ！
折り紙仲間	簡単な折り紙を折って遊ぶ
調布の自然学習ボランティア	木の笛、竹の笛を作る
調布水辺の楽校	ストーンアート
セラピーサークル マダムポアン	スライム作成体験
調布少年少女センター	簡単にできて、遊べるものを作る。
ボランティア ドングリの森	木の実を中心としたリース作り
首都圏建設産業ユニオン 調布支部	「子ども大工さんコーナー」 “木と触れ合おう” ①子ども棟上げ式 ②カンナ掛け体験コーナー ③丸太切りコーナー
遊友	琴と尺八の体験。数人ずつ演奏指導。14時から“花さき山”、その他ミニコンサート実施
卯の花会	盆踊り指導、エコクラフト「箸置き」づくり
木島平村	間伐材を使用した工作（イス作りなど）
木島平村新鮮屋	信州名物「おやき」の販売
緑ヶ丘小学校PTA	飲食物（ラムネ）の販売
緑ヶ丘小健全育成	手作り生そばの販売
調布FM	セレモニーの司会、放送
調布市立緑ヶ丘小学校	会場提供
特定非営利活動法人 ちょうふどっこむ	広報協力

(2) 実行委員会開催状況

回数	実施日	会場	内容
	5月19日(火)	市民プラザあくるす あくるすホール	懇親パーティー(これまで関わってきた方々、今年初参加の方々と共に実施。)
第1回	6月17日(水)	市民活動支援センター	開催地の交渉状況、参加チーム紹介、実行委員会役員選出、今後のスケジュール
	7月21日(火)	たづくり11階	参加チーム確認、開催イメージの共有
第2回	8月6日(水)	市民活動支援センター	参加チーム出展内容紹介、スタンプラリーの実施について、チラシ(案)の発表
	9月16日	市民活動支援センター	参加チーム・備品確認、ブースレイアウト、ステージプログラム
第3回	9月25日(金)	市民活動支援センター	事前折衝経過説明、参加チームの確定、チラシ(案)の検討、当日スケジュールについて
	10月1日(木)	市民活動支援センター	チラシの仕分け作業(市内全小学校別に児童数分に仕分け。)
第4回	10月23日(金)	市民活動支援センター	前日及び当日の運営(ブース出展、人員配置など)、レイアウト(案)、スタンプラリーカード・スタッフバッグづくり
第5回	11月24日(火)	市民活動支援センター	反省会

★ 成果・反省点・課題

- 子ども来場者数は、新型インフルエンザの影響か例年の半数程度となったが、その分、各出展ブースでの子ども対応が丁寧にでき、来場者には十分に楽しんでいただけた。また、例年は参加者多数で体験ブースの材料不足から、午後2時頃には閉めざるを得ないブースも多かったが、今回は午後からの参加の子どもたちにもすべてのブースを体験してもらうことができた。

実行委員会組織も、今年は新たなブース出展団体が4団体増え、それぞれにYDASの主旨に則った楽しい体験ブースづくりに力を注いでいただけた。「子どもたちに楽しい時間を提供したい、たくさんの体験をしてもらいたい」という思いが一つとなった実行委員会運営、当日会場運営ができたことを何よりの成果として考えている。

今後もこのイベントを通じて、たくさん子どもたちに楽しい体験学習の機会を提供すると共に、市民活動団体やボランティアの連携、地域とのつながりを深めていきたいと思う。

5 ちょうふチャリティウォーク2009の開催

寄付文化の醸成、市内企業のネットワークと地域との連携づくりを目的に実施。

企画、運営を実行委員会方式とし、地域企業との協働により実施した。

開催日時	9月27日(日)午前9時～午後3時				
会場	調布市役所前庭および市内各所				
参加者	500人	運営スタッフ	212人	参加費	一人500円 (中学生以下100円)
主催	ちょうふチャリティーウォーク2009実行委員会				
共催	社会福祉法人調布市社会福祉協議会				
協賛	調布市、				
後援	調布市教育委員会				
実行委員会 参加企業 および 団体	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調布市民活動支援センター 2. 調布市役所 3. UD-Consulting, Inc. (本年より新規参画) 4. 株式会社山田屋本店 (本年より新規参画) 5. 林建設株式会社 6. FC 東京 7. NPO 法人ちょうふどっとこむ 8. いばらき商事有限会社 9. タウン誌182ch 10. マイクロソフト株式会社 11. マニユライフ生命保険株式会社 12. 角川映画株式会社 13. 株式会社ナムコ 14. 株式会社やまぐち 15. 株式会社共和電業 16. 株式会社調布自動車学校 17. 株式会社内田平和堂 18. 金子スポーツ振興株式会社 (クラブ調布) 19. 高津装飾美術株式会社 20. 社団法人調布市体育協会 21. 調布エフエム放送株式会社 22. 東京ジューキ食品株式会社 23. 日綜コミュニティ株式会社 24. 野村證券株式会社 25. 有限会社管理人代行サービス 				

	26. 有限会社調布清掃 27. 大塚製薬株式会社 28. 味の素スタジアム
チャリティー 金額（参加費 、会場内寄付）	274,133円 ※えんがわファンドの原資として寄付

★ 成果・反省点・課題（実行委員会より）

- 2回目の開催であったにもかかわらず、500名の参加を記録し、27万円超の寄付金を集めた。チャリティーウォークという気軽に誰でも楽しく参加できるフォーマットで「地域の主体的および公共的な市民活動を支える寄付文化の醸成」の目的につながる手ごたえを感じた。
- 参加市内の団体、NPOおよび企業が多数、実行委員会に参画。今年は新たに2社の加入があった。当日運営ボランティアを含めた総勢は212名。これら企業・団体極めて緊密に、数か月に渡り連携／分担して準備を実施。この共同体験により、従来の企業の枠を超えた実行委員のネットワークが形成され、他の協業または地域での大規模災害時の連携等に生かされることが期待できる。
- 昨年度を上回る規模であったにもかかわらず、今年も運営面においても事故はなく、かつ参加者の満足度調査の結果も、高スコアであった昨年度をさらに上回った。この4段階の満足度調査において、最高レートの「大変よい」と答えた参加者が昨年から6ポイント上昇し全体の半数を超えた（52%）ことは特筆に値する。参加団体・企業の連携深化と、昨年の成功に甘んじない更なる改善努力がもたらした結果であると思われる。

6 調布ボランティア連絡会の開催

調布ボランティアまつり参加団体を中心に、団体間の情報交換や交流を目的に隔月に実施した。

（1）開催状況 ※定例会4回 会場はいずれも調布市総合福祉センター会議室

開催期日	内 容
5月11日（月）	・調布ボランティアまつり反省会 ・調布ボランティア連絡会の内容について ・今後の日程について
6月 8日（月）	・30周年調布ボランティアまつり内容についての検討 ※集客について・参加団体募集についてなど
8月10日（月）	・30周年調布ボランティアまつりの内容についての検討 ※チラシの作成について

10月19日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・第30回調布ボランティアのまつり（平成20年度）について <li style="padding-left: 20px;">※チラシ配布 ・第30回調布ボランティアのまつり第1回実行委員会開催 <li style="padding-left: 20px;">※以降、調布ボランティアまつり実行委員会に移行
-----------	---

7 菊野台ボランティア連絡会の開催

菊野台コーナーを拠点に活動しているボランティアの交流や情報交換を目的に約2ヶ月に1回開催した。コーナーの事業への協力、さらに連携が深まった。また、連絡会の団体・メンバーの募集のためのチラシ作りや、活動紹介など、積極的な地域への働きかけも行っている。また、小地域交流事業への積極的な協力も行った。

★ 成果・反省点・課題

- ボランティアまつりの中核となり、自主的な意識を持ち、積極的に活動している。また市内の児童・生徒向けの講座への協力にも尽力した。

8 染地ボランティア連絡会の開催

事業内容	個々で活動しているグループがお互いの活動を知り情報交換をしながら、交流を深めることを目的とする。連絡会主催でイベントや講習会などを企画開催。ボランティアまつり後、ほぼ2ヵ月に1回開催。
開催日時 参加者数	第7回7月11日（土） 10時～12時 12人 第8回8月29日（土） 10時～12時 10人 第9回9月26日（土） 臨時 第10回11月14日（土） 10時～12時 第11回1月9日（土） 10時～12時 以上定例会 4回開催 他臨時 1回
会 場	染地地域福祉センター

内 容	開催日時
りはびりまーじゃん （初心者から誰でも参加可）	毎月第2、第4火曜日、第4金曜日 10月より第1火曜日
マイパソコン教室	毎月2回土曜日午後 延べ参加者97人
カフェ染地（コーヒー）で参加	5月17日（日）染地ボランティアまつり 10月30日（日）染地ふれあいのつどい 3月7日（日）小地域交流 おたのしみミニ音楽会

〈講習会、研修会開催〉 池袋防災館の体験、見学ツアー	10月2日（金） 参加者19人
第1回ボランティア連絡会ネットワーク会開催（発起人となり、支援センターおよび各コーナーへ呼びかける）	2月16日（火） 参加者21人

9 緑ヶ丘ボランティア連絡会の開催

緑ヶ丘コーナーを拠点として活動しているボランティア団体の交流・支えあいを目的に開催し、地域のためになる活動を考え、実施することに協力した。

開催回数 2回 参加人数 延べ14人

★ 成果・反省点・課題

- 各ボランティアグループの横のつながりのために大いに役立っている。前年度好評だった、ふれ愛のつどいでのカフェ&生チョコを今年も行っていただいた。今年も大盛況だった。来年度に向けてボランティアグループを越えて、個人ボランティアを充実させて地域内のちょっとしたことに対応できないか検討していくことが来年度への課題・目標として挙げられた。

10 北多摩南部ブロック（調布・府中・三鷹・小金井・狛江）ボランティア・市民活動センターとの連携

他地区センターと事業共催することにより連携強化を図ると同時に、業務や経費を分担することで効率的に多彩な事業を展開することを目的として平成12年度から実施。これまで、環境（14年度、15年度）や国際交流（12年度、13年度、16年度）、NPO講座（17年度、20年度）、奉仕体験（18年度）をテーマに実施した（19年度は未実施）。

21年度は、災害に関する講座を開催した。

（1）共催事業「災害に備えて今できること～被災者の体験談とまちあるきから学ぶ～」の開催

※市民活動支援センターはえんがわフェスタ2010の一環として実施

日 時	3月7日（土）午前10時～午後3時30分
会 場	調布市総合福祉センター201～203会議室及びセンター周辺
内 容	①被災者の体験談「震災の教訓を聞いて備える」

	ゲストスピーカー3人の方のお話 ②まちあるき及び防災マップづくり「防災目線でまちをチェック」 総合福祉センターを中心に4コース
参加費	無料
参加者数	34人
共催	北多摩南部ブロック5市ボランティア・市民活動センター 東京ボランティア・市民活動センター
協力	調布市総務部総合防災安全課

(2) 北多摩南部ブロックボランティア担当者連絡会開催状況

回数	日時	会場	内容	参加者数
第1回	7月27日(月) 午後3時～5時	小金井ボランティア・市民活動センター	共催事業の検討、情報交換	9人
第2回	9月18日(金) 午後3時～5時	調布市市民活動支援センター「はばたき」	共催事業の検討	8人
第3回	12月22日(火) 午後3時～5時	みたかボランティア・センター	共催事業の検討	11人
第4回	1月13日(水) 午後6時～8時	調布市総合福祉センター201会議室	共催事業の検討	12人
第5回	2月23日(水) 午後3時～5時	調布市総合福祉センター601会議室	共催事業の最終確認	9人

★ 成果・反省点・課題

- 5市共催で開催したため、他地域から参加される方が多かった。今回は、まちあるきの目的や実施方法を体験していただき、それぞれの方が居住する地域でもまちあるきを実施していただくことも事業の目的の一つとしていたので、今後各ボランティア・市民活動センターを中心に取り組んでいきたい。
- 各市単独では取り組みにくい課題に対応するためにも、5市共催で事業を行う意義はある。来年度も共催の強みを活かし、事業を実施したい。

1.1 困難な課題を抱える女性のためのIT講座の運営協力

DV被害や幼児期の虐待体験、外国籍や母子家庭など、さまざまな困難な課題を抱えている女性を対象にパソコンの基礎技術を指導し、社会参加と自立への支援を行う、企業人ボランティアグループの活動支援を行った。

(主催：ITボランティアネットワーク)

第3部 市民活動支援センター

開催日時 ※いずれも日曜日	第一期	4月12日, 4月26日, 5月10日, 5月24日 6月7日, 6月21日, 7月5日(全7回) ①、②開催
	第二期	8月9日, 8月23日, 9月6日, 9月27日 10月4日, 10月18日, 11月1日(全7回) ①、②開催
	第三期	11月29日, 12月13日, 1月17日, 1月31日 2月14日, 2月28日, 3月14日(全7回) ①、②開催
内容	ワードコース	ワードの基礎を中心に応用とインターネットの習得 ①午前10時～12時
	エクセルコース	エクセルの基礎を中心に応用とインターネットの習得 ②午後1～3時
参加者数	講座参加者延べ37人(各コース10人定員) 指導・環境ボランティア10人 保育ボランティア7人	

★ 成果・反省点・課題

- 指導ボランティアが一人ひとりに対応して参加者に合わせたきめ細やかな指導が行われているため、参加者から好評であった。この講座に参加することで、パソコンに対する苦手意識が減ったとの意見や、またボランティアスタッフと接することで自分の癒しにもなったとの感想もいただいた。今後も、引き続きITボランティアネットワークと協力し、安全に配慮し安心してパソコンを学ぶことができるよう支援していきたい。
- 安全面に配慮しながら、この講座を必要としている女性に情報が届くようハローワーク・男女共同参画推進センターおよび市内各施設と連携し、女性たちが社会の中で自信を持って自立できるよう支援していきたい。

12 第32回福祉のまちづくりの住宅デーへの参加

東京土建一般労働組合調布支部が主催する、「第32回福祉のまちづくりの住宅デー」に参加・協力した。

日 時	11月15日(日) 午前10時～午後3時
会 場	調布市立富士見台小学校
内 容	①家具転倒防止作業等、災害情報の展示 ②模擬店
主 催	東京土建一般労働組合調布支部
協 力	調布災害時ボランティア・コーディネーターの会

★ 成果・反省点・課題

- 初めて参加した。ブースへの来場者は多くはなかったが、市民活動支援センター及び事業のPRのためにも、今後もこういったイベントに積極的に参加していきたい。

第6 人材育成、学習支援

1 出前ボランティア講座の実施

(1) 小・中高等学校ですすめられている「総合的な学習の時間」に対応した。

出前回数	36回	出前先	小学校	25回
受講生	延べ3,662人		中学校	3回
派遣スタッフ	延べ213人		高等学校	5回
			その他	3回
開催講座数	144講座・・・手話33講座・視覚障害者ガイド29講座・点字32講座・車いす50講座			

(2) 福祉まつりにて体験コーナーを実施した。

開催日	午前9時30分～午後2時30分 12月5日(土) 12月6日(日)		
会場	総合福祉センター 4階		
メニュー	5日(土) 車いす体験講座、手話体験講座 機織体験 折り紙体験 バリアフリー映画上映 視覚障害・聴覚障害者用福祉機器展示、 スルーネットピンポン 6日(日) 点字体験講座、 視覚障害・聴覚障害者用福祉機器展示、 スルーネットピンポン バリアフリー映画上映		
協力スタッフ	車椅子3人、手話(登録手話通訳者の会) 10人 点字(菊野台点字サークル) 5人		
協力	フリーフライト 4人		
来場者数	6日(土) 車椅子体験 143人 手話体験 202人 機織体験 4人 折り紙教室 357人 バリアフリー映画上映 131人 スルーネットピンポン 152人 視覚障害・聴覚障害者用福祉機器展示 147人 6日(日) 点字体験 173人 スルーネットピンポン 206人 視覚障害・聴覚障害者用福祉機器展示 114人 バリアフリー映画上映 170人		

2 都立高等学校における教育活動支援業務の実施

平成19年度より必修化された都立高「奉仕体験」における教育支援コーディネーター業務を東京都教育委員会より受託した。

(1) 実施内容

①手話体験

- ・コミュニケーション方法について
- ・聴覚障害者のお話
- ・ジェスチャーから手話での表現を学習
- ・手話でのあいさつ、会話の練習
- ・日常生活用具の紹介

②点字体験

- ・点字の打ち方、読み方
- ・視覚障害者のお話
- ・日常生活用具の紹介

③視覚障害者ガイドヘルプ体験

- ・ガイドヘルプの方法について
- ・視覚障害者のお話
- ・日常生活用具の紹介

④車イス体験

- ・車イスの自走体験及び介助方法（校内にある段差やスロープなど）
- ・身体障害者のお話

(2) 会場校・対象者

- ・都立調布北高等学校
- ・第1学年 全6クラス 240名

(3) 実施状況

I学年6クラスを対象に手話、車イスの講座を実施し、点字、ガイドヘルプ講座については、どちらか一講座を選択する方法で実施した。

日程	手話		ガイドヘルプ	点字	車イス	
	I	II			当事者スタッフ	介助スタッフ
10月6日（火）	1組	2組	3組	4組	お話の時間	体験クラス
5時間目					5組	6組
6時間目					6組	5組
10月13日（火）	3組	4組	5組	6組	お話の時間	体験クラス
5時間目					1組	2組
6時間目					2組	1組
11月10日（火）	5組	6組	1組	2組	お話の時間	体験クラス
5時間目					3組	4組
6時間目					4組	3組

★ 成果・反省点・課題

○東京都教育委員会より都立高等学校における教育活動支援業務の委託を受けて、都立調布北高等学校にて年間を通じた支援を行い2年目である。

昨年度に引き続き、「福祉」について体験講座を通して学びたい、とのことだったため、当協議会で実施している出前講座「手話・車イス・点字・視覚障害ガイドヘルプ体験講座」を紹介した。その上で、校舎のバリアを有効活用した車イス・視覚障害ガイドヘルプ体験のプログラムおよびコースの作成、手話および点字について体験プログラムの作成等を支援した。中途視覚障害者2名、聴覚障害者2名、中途身体障害者1名の計5名の当事者スタッフとガイドヘルパー、手話通訳者、車イスヘルパーの介助者14名、総計19名のスタッフを紹介。当事者による実生活での出来事、体験談の話、また介助体験、疑似体験の中でアドバイスすることにより、日々の生活で感じ得なかったこと、または見過ごしていたことの気づきを与えることができた。またどのようにしたら、より障害者が外に出て過ごしやすい空間が作れるか、高校生にできることは何かについて、考える機会を提供できた。

3 調布サマーボランティア'09

青少年（概ね13歳～30歳）を対象に、夏休み期間を利用したボランティア活動体験を実施した。活動体験の受け入れ先は、市内および都内の福祉施設、社会教育施設や市民活動団体など。東京ボランティア・市民活動センターとの共催により、都内他地区ボランティア・市民活動センターとも連携し、幅広い地域から訪れる活動体験希望者と受け入れ先との調整を行った。

第3部 市民活動支援センター

協力団体・施設	61団体 ・ 76プログラム	内 訳	
		・高齢者関係 12団体 14プログラム	
		高齢者施設	9団体
		老人クラブ	1団体
		ボランティアグループ	0団体
		社協	2団体
		・障害者(児)施設 15団体 26プログラム	
		障害者施設	5団体
		障害児施設・団体	4団体
		ボランティアグループ	4団体
		社協	0団体
		その他	2団体
		・子ども関係 25団体 25プログラム	
児童館・学童クラブ	8団体		
保育園	16団体		
その他	1団体		
・海外協力 0団体 0プログラム			
・環境関係 4団体 4プログラム			
・その他IT・文化など 9団体 9プログラム			
参加者人数および活動先別人数内訳	参加者総数	111人(男性 45人 女性 66人)	
	年齢層内訳	中学生	33人
		高校生	70人
		専門学校生	1人
大学生		5人	
社会人		2人	
活動先別内訳 (のべ数)	高齢者関係	18人	
	障害者・児関係	41人	
	児童関係	67人	
	国際・環境関係	10人	
	その他	20人	
協力団体・施設向けオリエンテーション	開催日時	4月30日(木) 午後5時～6時30分まで	
	内容	・主催者挨拶 ・方針、スケジュールについての説明 ・意見交換「よりよい体験のために」、その他	
	参加人数	17人	

出前オリエンテーション	開催場所	都立神代高等学校 視聴覚室
	開催日時	6月18日(木) 午後3時～5時
	参加人数	およそ100人
	内容	・概要・スケジュールなどの説明、申込方法 ・映像上映(体験先分野の説明) ・質疑応答
合同オリエンテーション	開催日時	7月15日(水) 午後4時～6時
	内 容	第1部 ・主催者挨拶 ・資料の確認、本日の流れ ・概要説明(スケジュール)、質疑応答 ・ワーク「今年の夏ボラの目標」 第2部 ・体験先別個別オリエンテーション
	参加人数	・体験者 69人 ・体験先団体・施設担当者 24人
交流会	開催日時	8月19日(水) 午後3時～5時
	内 容	センター長挨拶 アイスブレイキング 全体交流会
	参加人数	①体験者 8人 ②体験先団体・施設担当者 4人 ③教員 2人

★ 成果・反省点・課題

- さまざまな思いを持ってボランティア体験をする参加者に対し、新しい発見と出会いの中で自分や社会を見つめなおす小さなきっかけを提供することができたのではないだろうか。また、受入れ団体・施設からも内部の見つめ直しを行うことができたとの意見をいただいた。体験者にとっても、受入れ施設にとってもよい体験となるよう今後も努力して生きたい。
- 都立神代高等学校の学生の受け方を昨年度と変更し、担当教諭と連絡を密に取り合っ進めることができた。しかし、申込締切を早くに設定したこともあり、参加者は減少した。受け方も含め今後、どのような形で行うのが一番いいのか検討していきたい。
- 近年、奉仕体験活動や学校の宿題など、学校の課題で参加する人が多い。そのため今年度は受け入れ施設・団体に「学校の宿題・奉仕体験・教員研修」の受け入れができるか事前に伺い、参加者にわかるように活動先一覧に記載した。それによって受入れ団体・参加者はより円滑に体験に取り組むことができたと思う。

4 ボランティア入門講座「はじめの一步」

はじめてボランティア・市民活動に参加する方やボランティア・市民活動について知りたいという方を対象に、ボランティア入門講座「はじめの一步」を各ランチで開催した。

拠 点	開催日	参加者数	スタッフ
菊野台コーナー	4月30日(木)	4人	2人
	8月27日(木)	5人	1人
	2月27日(土)	3人	1人
富士見コーナー	6月25日(木)	2人	1人
	12月17日(火)	11人	3人
染地コーナー	5月22日(土)	1人	1人
	11月14日(土)	0人	1人
緑ヶ丘コーナー	5月26日(火)	9人	2人
	9月19日(土)	8人	1人
	3月6日(土)	0人	1人
西部コーナー	1月28日(木)	8人	3人

5 小・中学生ボランティア体験講座（菊野台コーナー）

小学校3年生から中学3年生までを対象に、ボランティア活動についての学習と体験の場として毎月1回行う。人とのふれあいや様々な体験をとおして、ボランティア活動や共に地域で支えあいながら暮らしていくことの意義について考えていく。

開催日	内 容	参加者数	スタッフ・協力者
10月10日(土)	ボランティアってなあに？ 点字で名刺を作ってみよう！	8人	菊野台点字サークル
11月28日(土)	「ちょうふ」の自然・良さを見つけてみよう！	7人	ねこじゃらし
12月12日(土)	「使用済み切手」は、なんの役に立つの？	5人	すたんぷ菊野台
1月9日(土)	地域のバリアを見つけに行こう！	7人	ヘルパー有資格者
2月13日(土)	「日本語」でボランティア外国人の人と話してみよう	5人	調布日本語ボランティアの会
3月6日(土)	交流会（割りばしの話）	7人	菊野台ボランティア連絡会
全6回		延べ39人	延べ25人

6 脳トレ健康ふれあいマージャン（富士見コーナー）

開催目的	地域の60歳以上の高齢者を対象に、脳と指先のトレーニングを図るとともに、互いの交流とふれあいを目的にして開催した。
日時	平成21年4月から22年3月までの第1・第3火曜日開催 午後1時半から午後4時
会場	富士見地域福祉センター
参加者	16名（延べ384名）
指導者	上畑 敏子氏

7 高齢者のふれあい健康体操（富士見コーナー）

開催目的	地域の60歳以上の高齢者を対象に、健康増進を図るとともに、互いの交流とふれあいを目的にして開催した。講座修了後、自主サークルとして活動する
日時	平成21年4月から22年3月までの毎週火曜日開催 午前10時から午前11時半
会場	富士見地域福祉センター
参加者	15名（延べ576名）
指導者	大山 典子氏

8 富士見調理ボランティア講座（らくらくクッキング）

開催目的	仲間と楽しみながら食事を作ることで人との交流を深め、マンネリ化した食生活に刺激を与え献立のチェック、食事からくる生活習慣病を考える。
日時	平成21年11月10日、17日、24日の3回火曜日開催 午前10時から午後14時半 講座終了後 月1回3月まで開催
会場	富士見地域福祉センター調理室
参加者	各8名（延べ56名）
指導者	平野国雄氏

9 シニアボランティア講座「男性のための料理づくり基礎編」（染地コーナー） 全3回

開催目的	リタイア後の方々の、新たな仲間づくりの場として、また地域社会とのつながりを持ち地域参加のきっかけとなることを目的に開催。
日時	9月30日、10月6日、10月13日（全3回） いずれも火曜日 午前9時～午後2時
会場	染地地域福祉センター 調理室ほか
内容	料理づくりの基本を学び、つくった料理を食べながら会食 1日目：肉料理の基礎 2日目：魚料理の基礎 3日目：野菜の煮物 過去の料理講座修了生で活動しているボランティアグループ「だいこん葉の会」 へ2名が活動に加わった。すでに他の料理講座を受講されている方が多かった、為か、地域の活動への参加を呼びかけたが2名に留まった。
講師	荒井 由紀美 栄養士
参加費	3,000円（3回分の材料費込み）
参加者	8人 60歳以上男性

10 染地うたごえ広場（染地コーナー）

開催目的	世代を問わず音楽をとおして、地域の皆さんに楽しんでもらえる場を手作りで企画・運営。毎月第1土曜日開催。伴奏者もすべてボランティア。					
会場	染地地域福祉センター					
日時	4月4日	6月6日	7月4日	8月1日	9月5日	10月3日
来客者	42人	50人	44人	51人	45人	53人
日時	11月7日	12月5日	1月16日	2月6日	3月6日	
来客者	52人	51人	46人	65人	48人	
内容	童謡、唱歌や皆が歌いたい歌のリクエストから全員で歌う。 ひなまつり、クリスマスなど季節ごとにお菓子を用意した。					
参加費	300円（飲み物、茶菓子付）					
課題	昨今のうたごえブームにより来客数が増加。、他にすたっふが15人ほど加わるので、会場の都合上、お断りせざるを得ない時があった。					
企画・運営	染地ボランティア連絡会 染地うたごえ広場プロジェクトチーム					

第7 その他

1 他団体会議・講座等への委員、講師、パネラーなど職員派遣

日程・期間	会議・講座名称	主催団体
5月15日(金)	三菱東京UFJ銀行新任行員研修	三菱東京UFJ銀行／東京ボランティア・市民活動センター
5月21日(木)	図書館ボランティア説明会	調布市立中央図書館
6月8日(月)	区市町村ボランティア・市民活動センター 新任研修	東京ボランティア・市民活動センター
6月11日(木)	出前講座(ボランティア・NPOについて)	多摩川住宅
6月17日(水)	図書館ボランティアミーティング	調布市立中央図書館
9月8日(火)	図書館ボランティアミーティング	調布市立中央図書館
10月12日(月)	明星大学ボランティアセンター活動報告会	明星大学ボランティアセンター
1月27日(水)	協働を考えるシンポジウム	西東京市市民協働推進センター
3月3日(水)	企業の地域(社会)貢献活動支援研修 (区社協職員向け研修)	横浜市社会福祉協議会
3月12日(金)	精神保健ボランティア講座	調布市こころの健康支援センター
通年	東京ボランティア・市民活動センター 運営委員会	東京ボランティア・市民活動センター
通年	東京社協課題別検討会(災害対応)	東京都社会福祉協議会
通年	市民社会をつくるボランティアフォーラム 実行委員会	東京ボランティア・市民活動センター
通年(12月～)	全国ボランティアフェスティバル準備会	東京ボランティア・市民活動センター
通年	都内ボランティア・市民活動センター センター長会議、事務局会議ほか	東京ボランティア・市民活動センター

2 職員研修

レベルアップを図るためそれぞれの経験年数、職務に応じた研修に参加した。

会議・講座名称	参加人数	主催団体
ボランティア・市民活動シンポジウム2009～ボランティア・市民活動が生み出す	1人	「広がれボランティアの輪」連絡会議

第3部 市民活動支援センター

社会的効果・価値を考える～		
NPO法人と新公益法人 間違いだらけの法人選び！！	1人	NPO法人国際ボランティア事業団
平成21年度区市町村ボランティア・市民活動センター新任研修	3人	東京ボランティア・市民活動センター
平成21年度地域支援・生活支援サービス推進研修	3人	全国社会福祉協議会

3 視察対応

他地域からのセンター見学および研修依頼に随時対応した。

日 程	団 体 名 等
6月10日(水)	武蔵野市教育委員会
7月 8日(水)	春日井市市議会議員団
7月16日(木)	区市町村ボランティア・市民活動センター新任研修
7月16日(木)	国分寺市役所
10月13日(火)	さいたま市サポートセンター
10月20日(火)	小金井市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会
12月 8日(火)	府中市社会福祉協議会ボランティアセンター
1月13日(水)	武蔵野市役所
1月25日(月)	駒ヶ根市市民活動支援センター
2月25日(木)	都留市社会福祉協議会

4 事業協力

他団体等の実施事業に参加、協力した。

日 程	事業名称	実施団体等
4月16日(木)	コクティ防災訓練	コクティ施設部会
5月30日(土)	NPO法人市民活動推進協会総会	NPO法人市民活動推進協会
6月 6日(土)	富士見町自治連合会総会	富士見町自治連合会
6月 8日(月)	NPO法人ちょうふ子どもネット総会	NPO法人ちょうふ子どもネット
7月25日(土) ～26日(日)	サマーフェスティバル in 国領	国領商盛会
8月 1日(土)	ときわぎ国領夏祭り	ときわぎ国領
11月15日(日)	土建まつり	東京土建調布支部

第3部 市民活動支援センター

11月29日(日)	飛田給南口整備のバリアフリーを考える会	飛田給まちあるきの会
1月30日(土)	富士見町自治連合会新春のつどい	富士見町自治連合会
1月30日(土)	調布パソコンサークル10周年記念パーティー	調布パソコンサークル
3月13日(土)	石原小学校地区協議会防災訓練	石原小学校地区協議会
3月13日(土)	地域デビュー歓迎会	地域デビュー歓迎会実行委員会